HomeLink

総合マニュアル

アプリ　Ver15.3

本マニュアルは、HomeLinkアプリにて使用可能な

機器・サービスの設定及び操作方法等を記述したものとなります。

目次

1. セットアップの前に 6

ユーザー様にご用意いただくもの 6

Wi-Fiルーターの設定を確認 6

2. 初期設定 7

アプリのインストール 7

HomeLinkアカウントを登録する 8

ホームの作成 9

デバイスロック機能について（賃貸マンション向けの設定） 10

3. 機器のセットアップ 11

eRemoteシリーズについて 11

eRemotePro、AC100、AC200のセットアップ 12

光温湿度センサーの使用方法について 14

1. 利用前の確認事項 14

2. 取り付け方法 14

3. アプリ表示 14

スマートプラグ ePlugシリーズについて 15

ePlug（C1）をセットアップする 16

ePlug（C1）の手動セットアップを試す 17

ePlug 2 をセットアップする 19

ePlug 3 をセットアップする 22

ePlug 3 の操作画面 23

ハブ（BLE）をセットアップする 24

eLamp2（BT）の登録 26

eLamp2（BT）とハブの連携 27

マルチボタン（BT）をセットアップする 28

マルチボタンとハブを連携させる 28

家電リモコンを登録（eRemotePro,AC100,AC200） 29

家電リモコンの登録について 29

住設家電のリモコンの登録 31

エアコンの登録 32
テレビの登録 33
再学習をする、未登録のボタンを学習する 34
4. 機器の追加、交換対応 35
5. スマートリモコンの設置 35
設置時のポイント 36
6. eCurtainを登録する 38
eCurtainのパネル画面について 40
7. eCamera 2（LOOK）を設置する 41
※ご利用者(入居者)さま自身で登録を行います。 41
8. 機器をリセットする 43
eCamera2(LOOK)をリセットする 43
9. ZigBee対応製品を登録する 44
（ハブ,照明スイッチ,温湿度,開閉,ボタン,カーテン） 44
ハブ（ZigBee）を登録する 44
一括でZigBee子機を登録する 45
個別でZigBee子機を登録する 46
ZigBee対応製品をリセットする 48
カーテンのリセットについて 49
10. ZigBee製品を設置する 50
開閉センサー（ZigBee）を設置する(DS2、DS3共通) 50
マルチボタン（ZigBee）を設置する 51
温湿度センサー（ZigBee）を設置する 51
カーテン（ZigBee）を設置する 52
付属品の確認 52
レールの組立 53
ベルトのカット（両開き） 54
両開きの組立 56
ベルトのカット（片開き） 61
片開きの組立 64

目次に戻る

レールの取付 68
リモコンのペアリング方法 70
リモコンのペアリング解除方法 71
11. HEMSハブを設置する 72
HEMSハブについて 72
ECHONET Lite機器の事前確認 72
HEMSハブをセットアップ前の事前準備 72
HEMSハブのセットアップ 73
ECHONET Lite機器の個別追加 74
12. JEMAハブを設置する 75
JEMAハブとは 75
セットアップ前の事前確認 75
JEMAハブをセットアップする 76
14. ドアハブを連携する 77
ドアハブとは 77
ドアハブのセットアップ 77
ドアハブ本体を登録する（LANケーブルで接続） 77
ドアハブのアプリアホーム上の表示 78
各部屋への登録 79
15. 他社製品を連携する 81
Amazon Alexaを連携する 81
美和ロックを連携する 84
HomeLink対応のスマートロックについて 84
1. ハブBLEをセットアップする 85
2. スマートロックをペアリング待機状態にする 85
DTRS Ⅱ smart・DTRSをペアリング待機状態にする 85
PiACK II smart・PiACK IIをペアリング待機状態にする 88
アプリにスマートロックを登録する 90
※アプリにスマートロックを登録後、操作不可の場合 91
13. 美和ロック（スマートロック）を操作する 93

ロックを操作する 93
緊急解錠機能について（ローカル操作） 94
美和ロックのゲストキーを発行する 95
リンナイ給湯器を連携する ※ご利用者(入居者)さまでの登録となります。 97
ノーリツ給湯器を連携する ※ご利用者(入居者)さまでの登録となります。 100
大阪ガス給湯器を連携する ※ご利用者(入居者)さまでの登録となります。 102
パーパス給湯器を連携する ※ご利用者(入居者)さまでの登録となります。 104
16. スマート機能について 106
シーンの設定方法 106
連動の設定方法 108
連動できる機器について 110
連動の設定方法 111
連動の設定方法 112
17. よくある質問 113
eRemoteシリーズ 113
Q. セットアップができない（eRemoteシリーズ） 113
Q. アプリからリモコンボタンをタップしても反応しない 113
Q. リセットロックとは何？ 114
Q. 再設定したい（リセット方法） 115
Q.美和ロックのオートロック機能の動作について 115
カーテン（ZigBee） 115
Q. カーテンモーターから出ている線は何？ 115

※アプリ画面の文言等については作成時点のものとなります。予めご了承ください。

目次に戻る

1.セットアップの前に

ユーザー様にご用意いただくもの

●常時接続できるWi-Fi環境（2.4GHz帯）

●スマートフォン（パソコンではご使用いただけません）

Wi-Fiルーターの設定を確認

以下の設定項目をご確認ください。

項目	設定	備考
2.4GHz帯	有効	セットアップ時のみ2.4GHzにする必要があります
パスワード（暗号化キー）	半角英数字のみ使用	32桁以上は対応していません
認証方式	WPA/WPA2	WEPには対応していません
MACアドレスフィルタリング	無効	
IPアドレス	自動割り当て	
プライバシーセパレータ	無効	※を確認ください

※プライバシーセパレータについて

ルーターのメーカーや機種により、[AP隔離] [SSIDセパレータ] [APアイソレーション] [ネットワーク分離]と表示の場合もあります。

有効になると、ルーターを介してスマホと本製品と通信できないため、無効にする必要があります。

※モバイルルーターをお使いの場合

Wi-Fi暗号化強化（PMF)という項目がONになっている場合は、OFFにご変更ください。

2. 初期設定

アプリのインストール

以下のQRコードを読み込むか、ストアにて「HomeLink」と検索し、「HomeLink（ホームリンク）」アプリ（無料）をインストールしてください。

【iOS】

Home Link

Available on the App Store

【Android】

Home Link

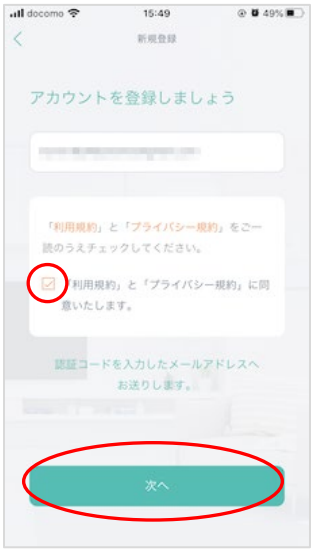
ANDROID APP ON Google Play

! ※iOS13.0、Android7.0以上をサポートしています。
位置情報など求められる権限をすべてオンにしてください。

HomeLinkアカウントを登録する

アプリを起動し、以下の手順よりアカウント登録を行ってください。

アプリを起動し「新規登録」をタップします。



メールアドレスを入力して利用規約をご確認のうえ「チェック」をし「次へ」をタップします。

メールアドレスに届いた認証コードを入力して任意のパスワード（8桁以上）を入力し「次へ」をタップします。

ホーム画面が表示されたらアカウント登録完了です。

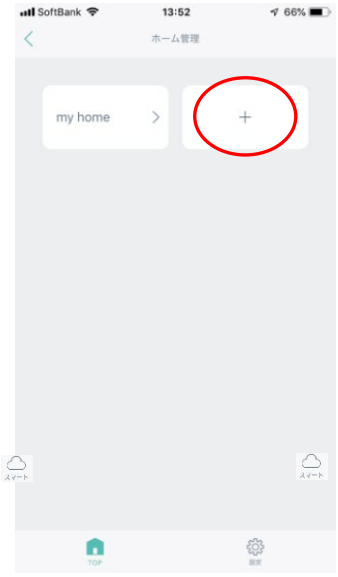
目次に戻る

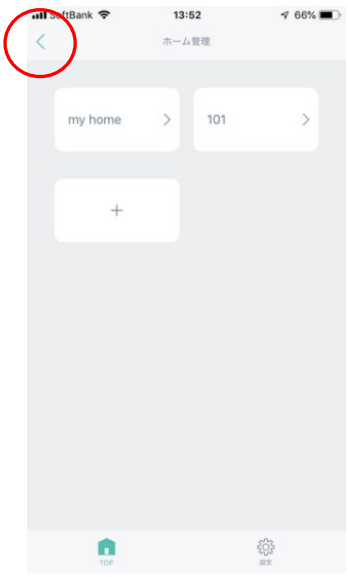
ホームの作成

①スマートフォンを部屋のWi-Fiに接続します。

※2.4GHz帯に接続してください。5GHz帯は機器のセットアップができません。

②対象の部屋のホームを作成します。下記の例では101号室です。





デバイスロック機能について（賃貸マンション向けの設定）

賃貸マンションへの製品設置（QR-Link利用）の場合は必要に応じてこちらの設定を行ってください。

デバイスロック機能は、ホーム内の機器を他のアカウントで登録が出来ないようにする機能です。
入居者（子アカウント）による機器の登録や設定変更を防止したい場合は有効にして下さい。
※初期値ではデバイスロックは無効です。無効にすると、入居者はデバイスの追加が可能です。

親アカウント

親アカウントでデバイスロックが設定できます。

子アカウント

デバイスロックが有効の場合、上記の画面が表示され追加できません。

デバイスロックが有効・無効に関わらず、上記の画面が表示され注意を促します。

デバイスロック時に子（別）アカウントでセットアップし追加完了画面のタイミングで、以下のポップアップが出ます。

親アカウント

注意点

- 機器がリセットされた場合は、親アカウント内の機器を再登録する必要があります。
- ロック解錠方法は、元のアカウントから無効にしてください。元のアカウントが不明な場合は解除できません。

（2025/01/22　時点）

目次に戻る

3. 機器のセットアップ

eRemoteシリーズについて

電力量測定ができる

eRemoteは、以下の3種類ございます。

	対応コンセント	本体サイズ	リセットボタン位置
eRemote AC200	200V	縦：69mm 横：69mm 奥：68mm	側面
eRemote AC100	100V	縦：69mm 横：69mm 奥：64mm	側面
eRemote Pro	100V	縦：70mm 横：70mm 奥：76mm	正面

本マニュアルは
正面にボタンがあるタイプのeRemoteを使用しています。
操作方法やできることに3種類とも差異はございません。

目次に戻る

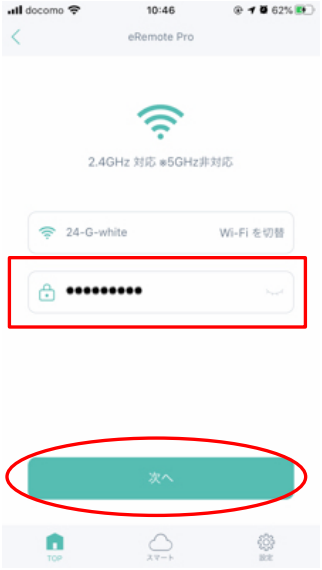
eRemotePro、AC100、AC200のセットアップ

スマートフォンを部屋のWi-Fi（2.4GHz帯）に接続してセットアップを行ってください。

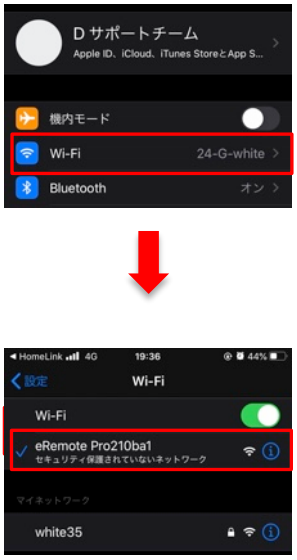
「IOT機器追加はこちら」をタップ

お使いのeRemoteをタップ

お使いのeRemoteのランプの状態を確認し、どちらかをタップ



Wi-Fiが自動入力されていることを確認してWi-Fiパスワードを入力し、「次へ」をタップ



「Wi-Fiを選択」をタップします。スマホのWi-Fi設定にて「eRemote Pro_」から始まるSSIDを選択して、HomeLinkアプリに戻ります。

HomeLinkアプリに戻るとセットアップが始まります。（10～30秒かかります）

追加完了したら、お好みの名称を入力して部屋を選択して「次へ」をタップします。

目次に戻る

セットアップ失敗時に本製品のランプが消灯している場合

セットアップに失敗時、本製品のランプが消灯している場合は、セットアップが完了している可能性があります。
以下の手順でセットアップを完了することが可能です。

①「ランプが消えました」をタップします

②“ 未設定 ” タブに本製品が表示している場合、タップし追加します

※上記の手順で表示されない場合は、本製品の電源を抜き差し、アプリをマルチタスク画面より閉じて、再起動してもう一度 ” 未設定 ” タブよりご確認ください。

本体ランプが消灯していない場合は、ルーターに特別な設定がされている可能性があります。
「Wi-Fiルーターの設定を確認」の項目を、ご確認ください。

目次に戻る

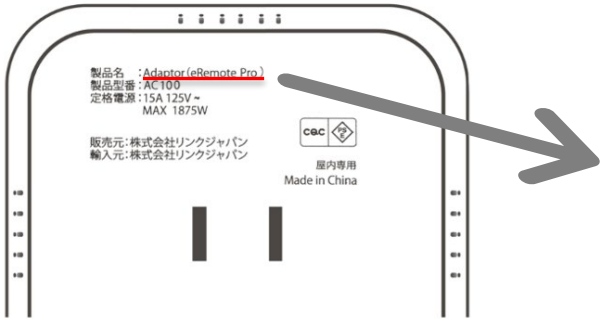
光温湿度センサーの使用方法について

1. 利用前の確認事項

※eRemoteACのファームウェアが最新状態か確認ください。

※製品名にAdaptor（eRemote）と記載されているeRemoteACのみ対応しています。

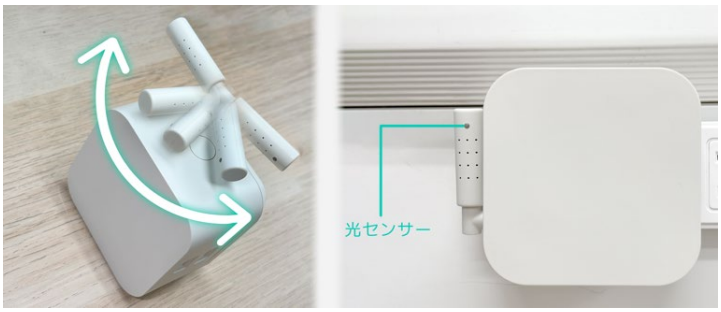
製品名にAdaptor（eRemotePro）と記載がある場合は非対応です。eRemoteACの背面にてご確認頂けます。



製品名 :Adaptor(eRemote Pro)
製品型番:AC100 非対応
定格電源:15A 125V~
MAX 1875W

2. 取り付け方法

本体の差込口に光温湿度計を差し込んでください。



光温湿度計は360度動かすことができます。本体をコンセントに差した際に、光センサーが周囲の明るさを拾えるよう調整してください。

3. アプリ表示

センサー差し込み目安1分で待つと、パネルが表示されます。

表示されない場合は、しっかりと光温湿度センサーが挿し込まれているかを確認し、5分程度待ちアプリを再起動してください。

それでも解決できない場合は、eRemoteACのファームウェアが最新になっていることを再度確認し、アプリから削除して、再登録を行ってください。

スマートプラグ ePlugシリーズについて

ePlug

ePlug 2

ePlug 3

ePlugシリーズは３種類のモデルがございます。
3種類とも基本的な使用方法に違いはございません。

最新のePlug3にのみ消費電力の計測機能がございます。
アプリ上から、使用電力量や電気代の確認が行えます。

目次に戻る

ePlug（C1）をセットアップする

ePlugは自動セットアップと手動セットアップ（BroadlinkProvに接続する方法）があります。
自動セットアップに失敗し、かつランプが点滅している場合は、手動セットアップを行います。

「IOT機器追加はこちら」をタップします。

「ePlug」をタップします。

ランプが0.3秒間隔に高速点滅していることを確認して「次へ」をタップします。

Wi-Fiが自動入力されていることを確認してWi-Fiパスワードを入力し、「次へ」をタップします。

セットアップが始まります。
（10～30秒かかります）

追加完了したら、お好みの名称を入力して部屋を選択し、「次へ」をタップし、登録完了です。

セットアップ失敗時に、
ランプの状態によって以下に
お進みください。

・ランプが消灯している場合
「セットアップ失敗時に本製品のランプが消灯している場合」をご参考ください。

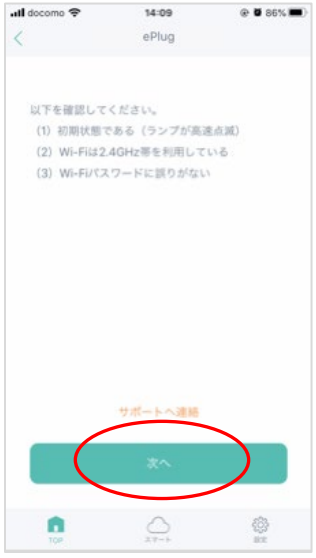
・ランプが点滅している場合
次ページの手動セットアップを
行なってください。

目次に戻る

ePlug（C1）の手動セットアップを試す

セットアップに失敗し、かつ失敗時にランプが点滅している場合は、手動セットアップを行ってください。

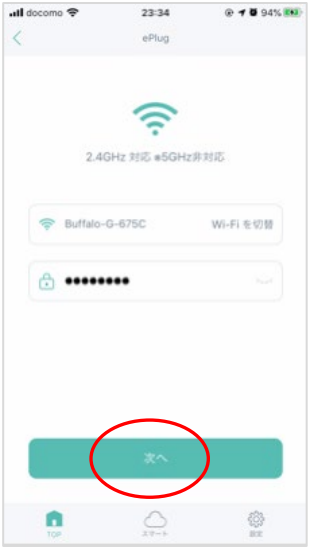
「ランプが点滅」をタップします。



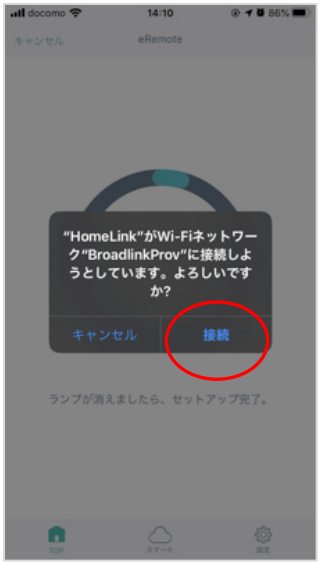
「次へ」をタップします。

本体のリセットボタンを長押しし、ランプを0.3秒間隔の高速点滅にして、「次へ」を

再度リセットボタンを長押しし、ランプを断続的な4回点滅にして、「次へ」をタップします。



2.4GHzのWi-Fiに接続していることを確認し、Wi-Fiパスワードを入力して「次へ」をタップします。



“ BroadlinkProv “に接続します。「接続」をタップします。

セットアップが開始されます。

※[BroadlinkProvに接続できません]と表示された場合は、次ページをご確認ください。

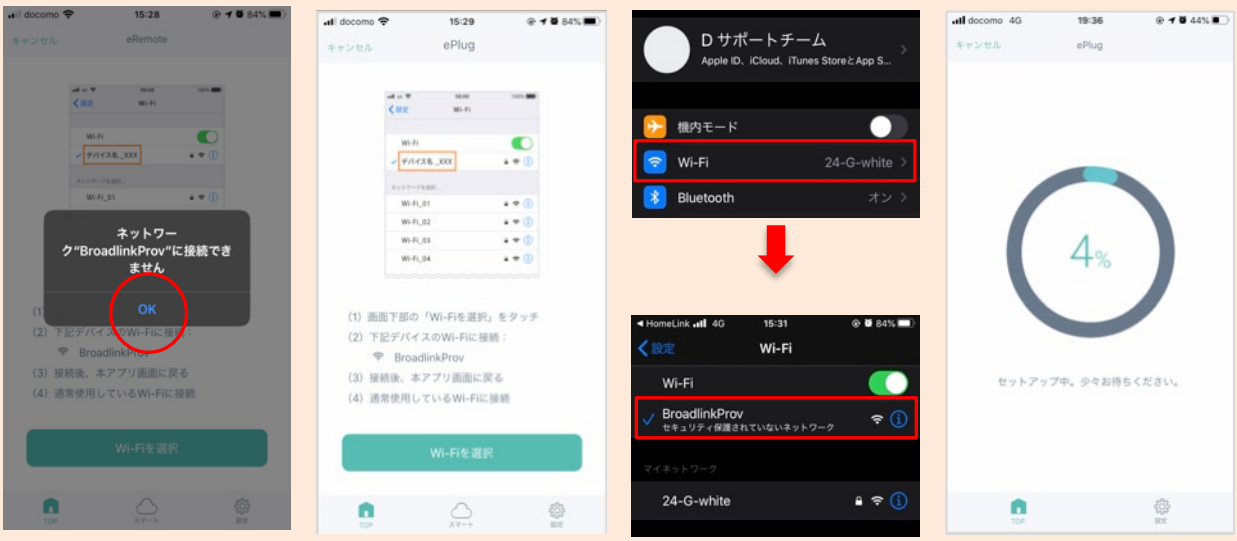
追加完了したら、お好みの名称を入力して部屋を選択し、「次へ」をタップします。

目次に戻る

[BroadlinkProv～～に接続できません] と表示された場合

スマホのWi-Fi設定より[BroadlinkProv～～]に接続し、アプリに戻ると、セットアップが再度開始されます。

以下の手順より設定を行ってください。



手動セットアップに失敗して、本体のランプが消灯している場合は、「セットアップ時に本製品のランプが消灯している場合」をご参考ください。

本体ランプが消灯していない場合は、ルーターに特別な設定がされている可能性があります。「Wi-Fiルーターの設定を確認」の項目を、ご確認ください。

ePlug２をセットアップする

ePlug２のセットアップ（iOSの場合）

「IOT機器追加はこちら」をタップします。

「ePlug2」をタップします。

本体をコンセントに差し込み、ランプが断続的な点滅をしていることを確認してから「次へ」をタッチしてください。

Wi-Fiが自動入力されていることを確認してWi-Fiパスワードを入力し、「次へ」をタップします。

（１）画面下部の「Wi-Fiを選択」をタッチ

（２）下記デバイスのWi-Fiに接続

：C2

（３）接続後、本アプリの画面に戻る

（４）通常使用しているWi-Fiに接続

セットアップが始まります。

（10～30秒かかります）

追加完了したら、お好みの名称を入力して部屋を選択し、「次へ」をタップし、登録完了です。

目次に戻る

ePlug２のセットアップ（Andoroidの場合）

「IOT機器追加はこちら」をタップします。

「ePlug2」をタップします。

本体をコンセントに差し込み、ランプが断続的な点滅をしていることを確認してから「次へ」をタッチしてください。

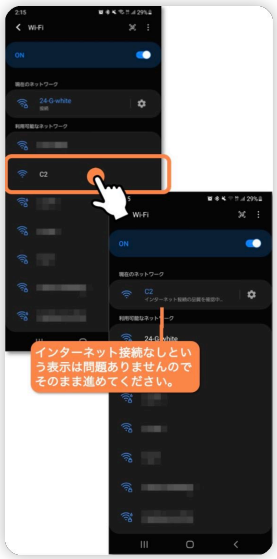
Wi-Fiが自動入力されていることを確認してWi-Fiパスワードを入力し、「次へ」をタップします。

(1) 画面下部の「Wi-Fiを選択」をタッチ

(2) 下記デバイスのWi-Fiに接続:C2

(3) 接続後、本アプリの画面に戻る

(4) 通常使用しているWi-Fiに接続



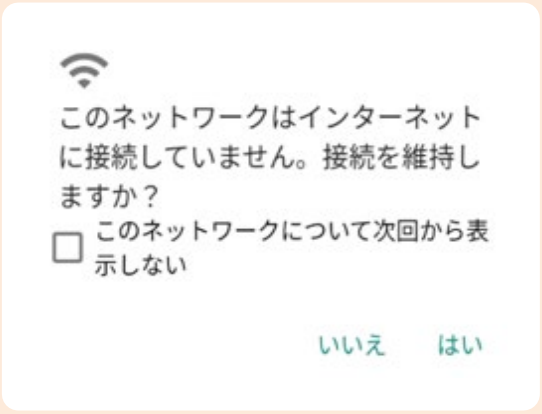
デバイスのWi-FiのC2に接続します。
インターネットに接続なしという表示は問題ありませんのでそのまま進めてください。

セットアップが始まります。（10～30秒かかります）

追加完了したら、お好みの名称を入力して部屋を選択し、「次へ」をタップし、登録完了です。

目次に戻る

このようなポップアップが表示された場合



ePlug 2 に接続した後、ポップアップが表示されることがあります。Andoroid端末によって表示容が異なりますが、ePlug2に接続するように選択してください。

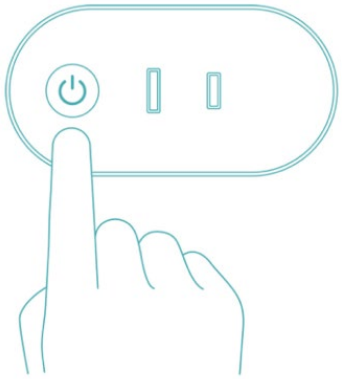
例１：「このネットワークはインターネットに接続を行っておりません。接続を維持しますか？」
→「はい」を選択

例２：「現在のネットワークは、インターネットに接続できません。別のネットワークに切り替えますか？」
→「キャンセル」を選択

目次に戻る

ePlug３をセットアップする

セットアップ前にePlug３のランプの状態がセットアップ待機状態（青点滅、もしくは紫点滅）になっているかをご確認下さい。



い
場合は、電源ボタンを8秒以上押してセットアップ待機状態にしてください。

お使いのアプリの状況に応じて、左右どちらかの操作を行って下さい。

ePlug３をタップします。
右下のポップアップが出る場合はセットアップ画面までスキップできます。

2.4GHzのWi-Fiが表示されている事を確認し、「次へ」をタップして下さい。

Wi-Fiが自動入力されていることを確認してWi-Fiパスワードを入力し、「次へ」をタップします。

セットアップが始まります。（10～30秒かかります）

追加完了したら、お好みの名称を入力して部屋を選択し、「次へ」をタップします。

目次に戻る

ePlug３の操作画面

ePlug3は、コンセントのオン・オフに加えて使用した電力量や、おおよその電気料金を表示することが可能です。

ホーム画面

ホーム画面のアイコンから
「>」を押すと詳細画面へ
移動します。

詳細画面

：詳細なタイマー設定
：名称変更の詳細設定

消費電力詳細

オンオフ操作ボタン

簡易的なタイマー設定

消費電力詳細

日ごと・月ごと・年ごとに
表示を切り替えることができます。

日付をタップすると
表示範囲を
選択できます。

電力単価をタップすると
グラフの使用料金を
計算するための単価の
設定ができます。

目次に戻る

ハブ（BLE）をセットアップする

スマートフォンを部屋のWi-Fi（2.4GHz帯）に接続して登録を行ってください。

「IOT機器追加はこちら」をタップ

「ハブ（BLE）」を選択

ランプが青色の点滅であること、2.4GHzのWi-Fiが表示されてあることを確認し、「次へ」をタップ

ランプが青色の点滅していない場合

リセット方法

ピンセットなどでリセットボタンを8秒以上長押しし、ランプが青色点滅するとリセット完了です。

なお、アプリからも「ランプが点滅していない」をタップするとリセット方法を確認できます。

目次に戻る

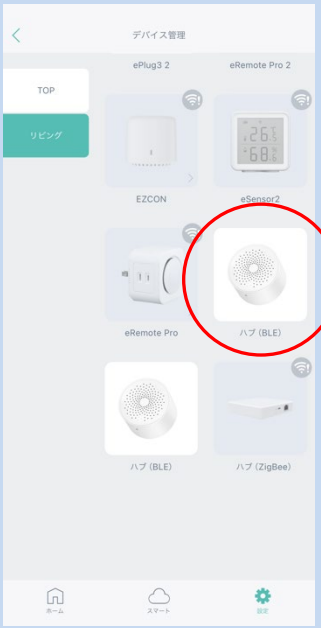
2.4GHzのWi-Fiパスワードを入力し、「次へ」をタップ

セットアップ中

お好みで名称と部屋を決め「次へ」をタップ

登録後、ハブはホームに表示されず、「＋」→「追加済み」タブで表示されます。

ハブBLEをセットアップした後は、アップデートを行ってください。



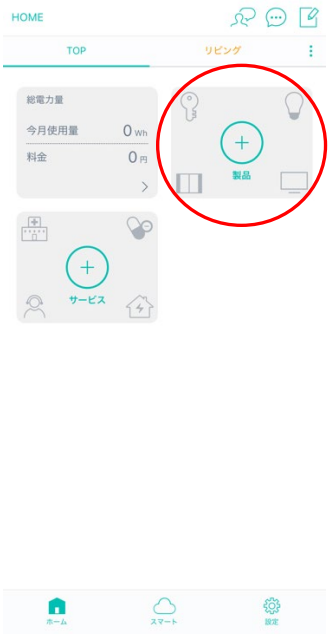
「設定」から「デバイス管理」を選択

ハブBLEを選択し、詳細画面からファームウェア情報を確認してください。

アップデートがある場合は行ってください。

目次に戻る

eLamp2（BT）の登録



「＋」をタップします。

eLamp本体の電源をオン→オフ→オンし、白色点灯にしてください。

「追加する」を選択

任意の名称を設定し「次へ」をタップ。eLamp2(BT)のセットアップが完了します。

「新規デバイスがあります」のポップアップが表示されない場合、以下をご確認、お試しください。

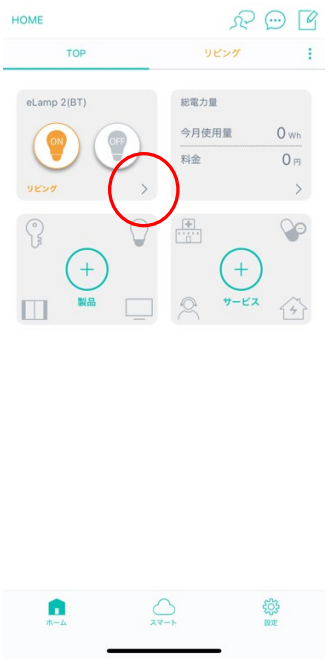
・スマートフォンのBluetoothがオンになっているか

・eLamp2の電源オン・オフを３回以上行ってください

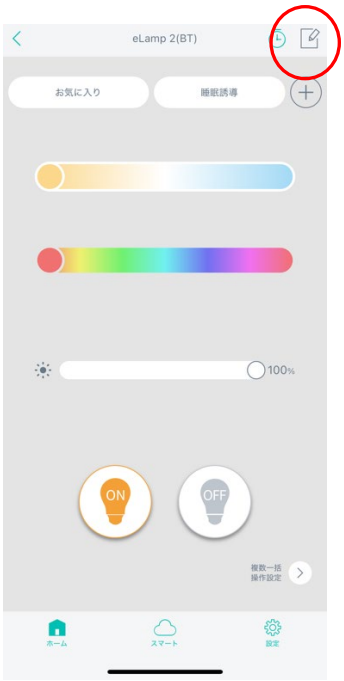
目次に戻る

eLamp2（BT）とハブの連携

eLamp2（BT）は、ハブと連携することで外出先からの操作が可能になります。

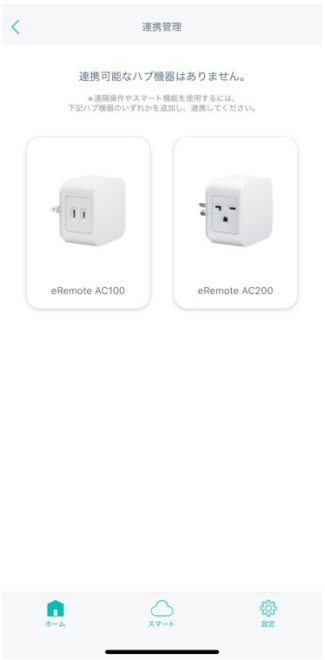


「eLamp2(BT)」の「＞」をタップ

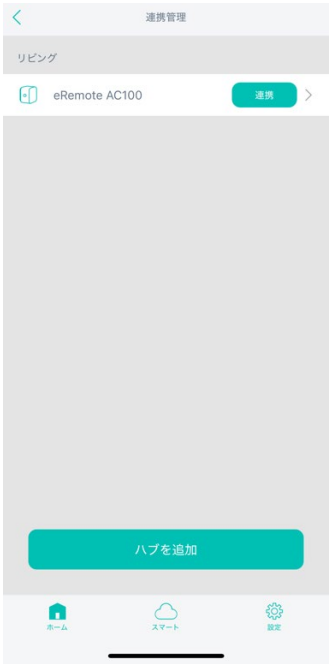


鉛筆とノートのマークをタップ

連携管理をタップ



連携可能なハブ機器がない場合はハブ機器を追加ください



連携させたいハブ製品の「連携」をタップします。

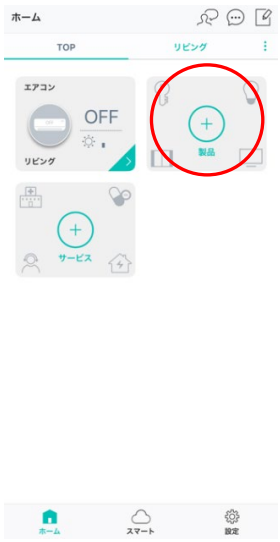
目次に戻る

マルチボタン（BT）をセットアップする

マルチボタン（BT）ですが、Bluetooth機能を用いてセットアップを行います。

スマートフォンのBluetooth機能やHomeLinkのBluetooth使用権限がオンになっているかご確認ください。

マルチボタン（BT）のボタン１が点滅するまで、任意のボタン2つを3秒以上長押しください。



「＋製品」をタップ

「追加する」をタップ

任意の名称を付けて次へをタップください。

TOP画面に表示され登録完了です。

「新規デバイスがあります」のポップアップが表示されない場合、以下をご確認、お試しください。

・スマートフォンのBluetoothがオンになっているか

マルチボタンとハブを連携させる

マルチボタンの利用には、ハブとの連携が必要です。ハブ機能を持つ製品が同一アカウントにセットアップされることで、マルチボタンと自動的に連携されます。

家電リモコンを登録（eRemotePro,AC100,AC200）

家電リモコンの登録について

> ! eRemoteをセットアップしていない場合、家電の追加前にeRemoteを予めセットアップしておく必要がございます。
>
> eRemoteのセットアップ方法（9ページ）を参考に予めセットアップを済ましておいてください。

本製品に家電リモコンを登録する方法は、以下の２つの方法があります。

① プリセット登録（簡単登録）
テレビ、エアコン、照明の登録については、メーカー選択するだけで簡単にリモコンの登録ができます。

② 手動学習で登録

手動学習では、手元に家電リモコンを用意する必要があります。
学習の際は、本製品に家電リモコンを向けて学習させたいリモコンボタンを押してください。

プリセット登録したテレビ、照明は手動学習が可能です。
エアコンは左図の [＋] から手動学習しボタンの追加が可能です。

パネル名	プリセット（簡単登録）	再学習	ボタンの追加
エアコン	○	※追加したボタンのみ	○
テレビ	○	○	○
照明	×	○	○
その他	×	○	○

目次に戻る

! リモコン登録時の注意点

本製品と家電の間に壁や障害物があると赤外線が届かず、家電が反応せず正常にリモコンを登録できない可能性があります。登録の際は、設置場所にご注意ください。

手動学習時の注意点

・直射日光や照明光が直接強く当たる状況では学習は行わないでください。学習がうまくいかない場合は、暗い部屋など場所を変更して行ってください。

・長押ししないようワンタッチを意識して学習してください。

・家電のリモコンの電池残量をご確認ください。

■エアコンのリモコン信号について

エアコンのリモコン信号は、冷房・暖房・温度・風量・風向などの情報をまとめて送信しています。

温度のみや風量のみの学習を行うことができません。

住設家電のリモコンの登録

アプリの案内に従って、住設家電のリモコンを登録してください。登録完了後、全てのリモコンボタンをタッチし、問題なく家電が動作するか確認してください。

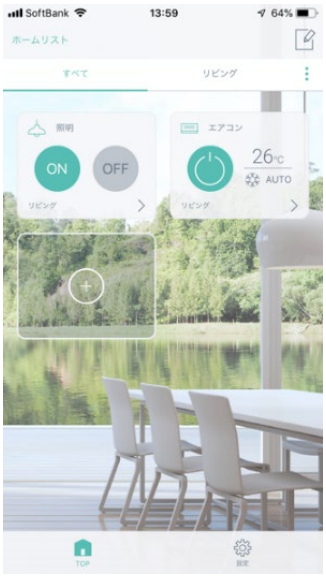
作業完了後、管理会社様へ連絡を行ってください。

大まかな手順は以下となります。

「＋」をタップします。

「家電の追加」をタップします。

追加したい「リモコン」をタップし、案内に従って登録を行います。



問題なく家電が操作できるか、確認します。

細かい、家電の種類ごとの登録方法については次ページをご覧ください。

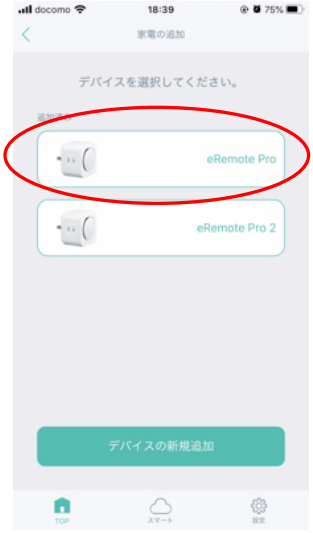
目次に戻る

エアコンの登録

メーカーを選択するだけで、簡単にリモコンの登録ができます。

プリセット登録できない場合は、手動学習で登録していただく必要があります。

「家電の追加」→「テレビ」をタップします。



登録するデバイスをタップ。

※登録済みのスマートリモコンが１つの場合はこの画面は表示されません。

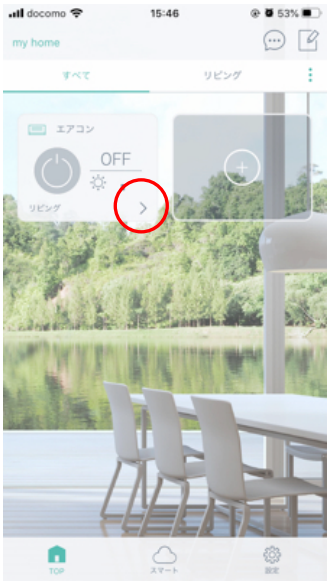
「メーカー」をタップします。

該当がない場合は、「該当メーカーがない場合は手動学習へ」をタップします。

「スタート」をタップします。

自動でマッチングが開始されます。エアコンが反応したら「OK」をタップします。

お好みの名称と部屋を選択して、「次へ」をタップします。



トップにエアコンが表示され登録完了です。

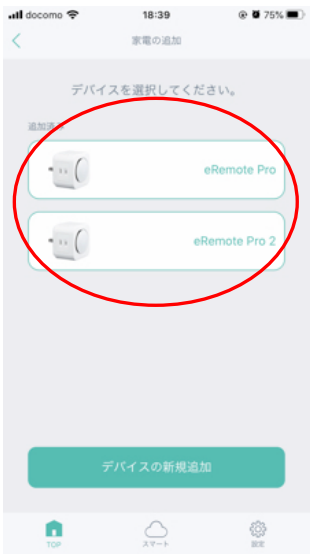
「>」をタップするとエアコンパネルが表示されます。

目次に戻る

テレビの登録

メーカーを選択するだけで、簡単にリモコンの登録ができます。

「家電の追加」→「テレビ」をタップします。



登録するデバイスをタップします。

※デバイスの登録が１つの場合はこちらの画面は表示されません。

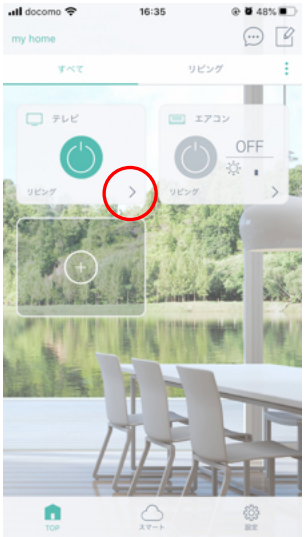
「メーカー」をタップします。該当がない場合は、「該当メーカーがない場合は手動学習へ」をタップします。

次の画面で、画面上で２つ以上のボタンをタップしてテレビが反応するか確認します。「OK」をタップします。

例として①電源ボタンと②音量アップを試します。タップして、反応があるか確認します。

テレビに反応があった場合は、「はい」をタップします。

お好みの名称と部屋を選択して、「次へ」をタップします。



トップ画面に表示されると、登録完了です。「＞」をタップするとテレビパネルが表示されます。

目次に戻る

再学習をする、未登録のボタンを学習する

再学習

テレビ、照明、その他パネルではリモコンの再学習が可能です。

学習を間違った場合や、プリセット登録したテレビや照明のボタン、

または学習したボタンが操作できない場合は、

再学習したいボタンを長押しして、再学習してください。

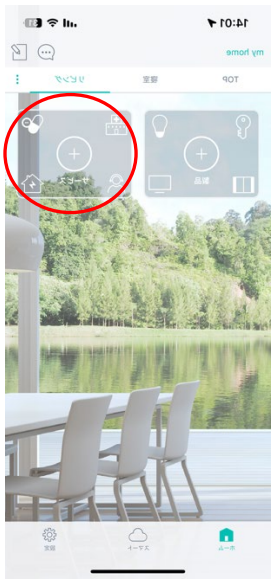
未登録のボタンを学習し登録する

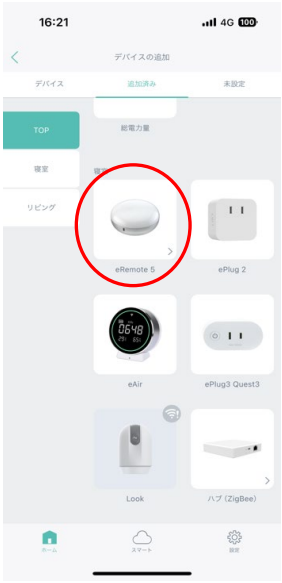
登録されていないボタンは薄くグレー表示されます。該当のボタンをタップすると学習画面が表示され、学習することでグレー表示からはっきりとしたボタンに切り替わります。

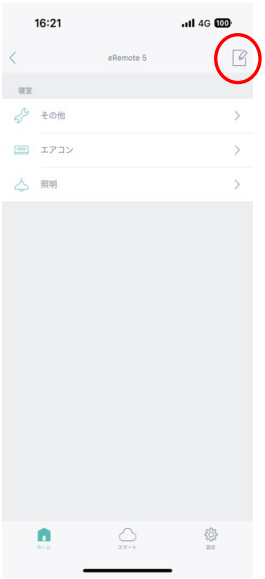
4. 機器の追加、交換対応

機器を追加、交換する場合は、管理会社様より管理者アカウント情報を頂いた上で、機器の登録を行ってください。

なお、交換の場合は、下記のように旧機器を削除して作業を行ってください。







5. スマートリモコンの設置

セットアップ時、どこのコンセントに差し込んでもセットアップ可能です。セットアップ完了後、下図のようにエアコン用コンセントに設置し、リモコン操作を確かめてください。また、エアコンのコンセントは側面のコンセントに差し込んでください。

※設置について

・通常はエアコンの近くにあるコンセントに設置してご運用ください。
もしもエアコンの横にコンセントがない場合や、家電操作が上手くいかない場合は別のコンセントに設置してください。

※100Vコンセントの場合、eRemoteProもしくはeRemote AC100をご使用ください。

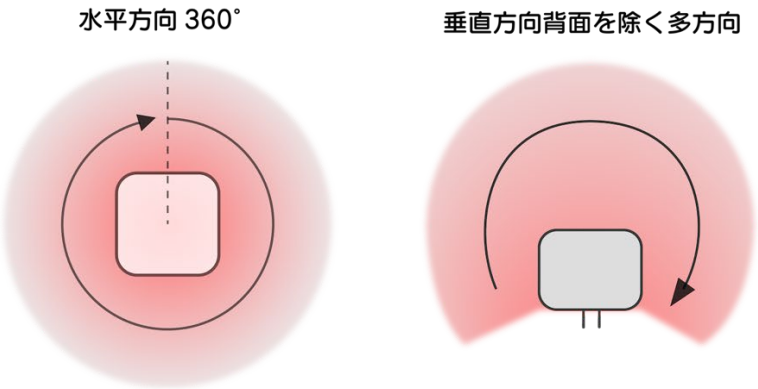
※200Vコンセントの場合、eRemote AC200のみ使用可能です。

目次に戻る

設置時のポイント

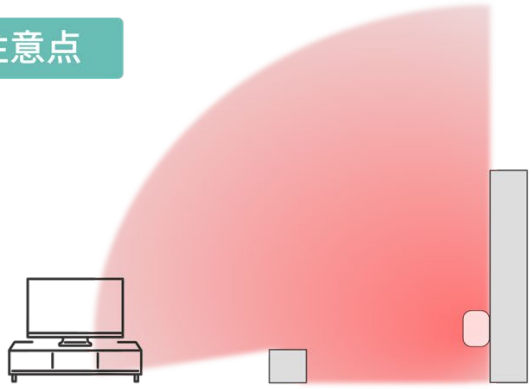
eRemote AC100、AC200の場合

赤外線の照射範囲

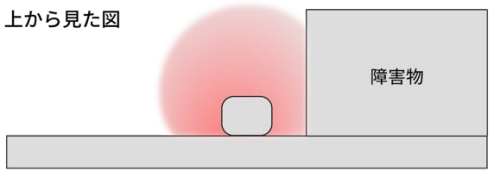


※お使いの環境により照射距離は変わります。
スマートリモコンの発信部から直線的に操作対象の家電まで赤外線が 届く 距離に設置が必要です。

設置時の注意点



家電製品との間に障害物がないこと
赤外線最大照射距離：15m



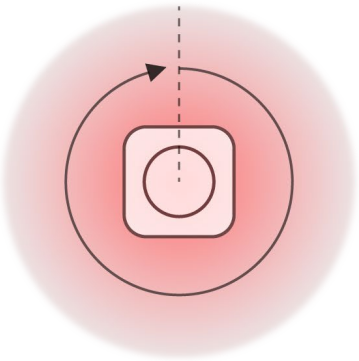
照射範囲を妨げないこと

※eRemote AC100 は 100V コンセント専用です。
※200V コンセントでは eRemote AC200 をご使用ください。

eRemote Proの場合

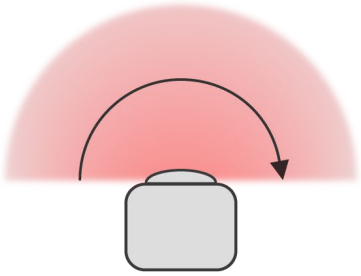
赤外線の照射範囲

水平方向 360˚



正面

垂直方向 180˚

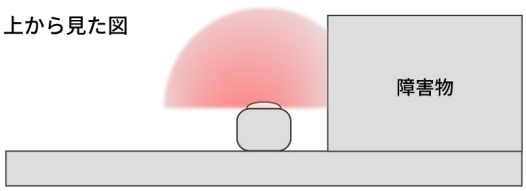


上下・側面

※お使いの環境により照射距離は変わります。
スマートリモコンの発信部から直線的に操作対象の家電まで赤外線が 届く 距離に設置が必要です。

設置時の注意点

家電製品との間に障害物がないこと



照射範囲を妨げないこと

※eRemote Pro は 100V コンセント専用です。200V コンセントでは使用しないでください。

目次に戻る

6. eCurtainを登録する

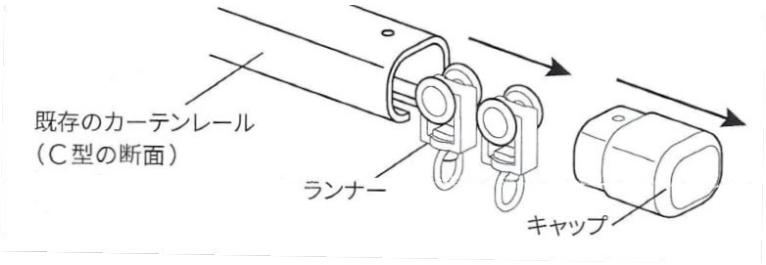
「ePlugをセットアップする」または下記の動画（URL）を参考にeCurtainの登録を行ってください。
※eCurtainの登録方法は自動セットアップのみです。

https://youtu.be/0wP98EIV9M4

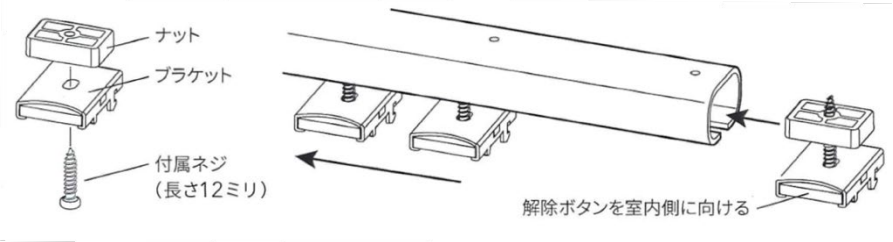
●設置方法(既存のカーテンレールに取り付ける場合)

※取付可能な既存カーテンレールは断面が「角形」や「C型」の金属性レールです。
※既存のカーテンレールの取付金具がしっかりと固定されていないことをご確認ください。

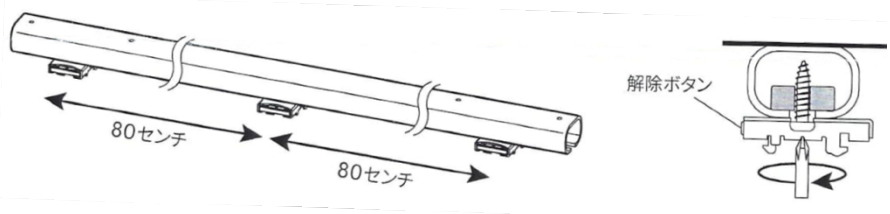
① カーテンレールのサイドからキャップを外してください。
ランナーをすべて抜いてください。



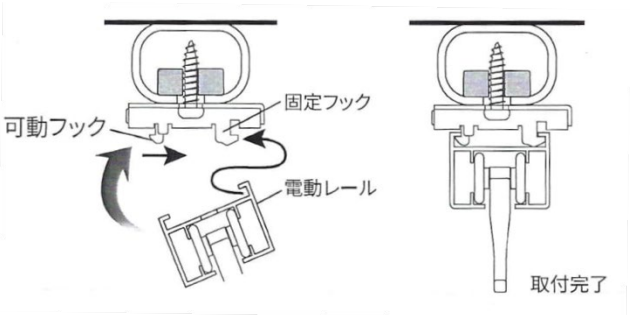
② 付属のブラケットにネジとナットを付けて、カーテンレールの横から溝に差し込みます。



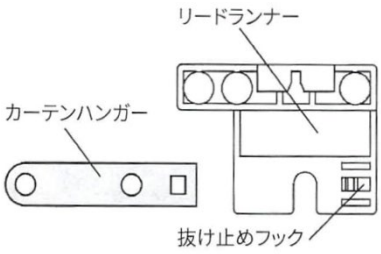
③ 約80センチの間隔に調整し、
しっかりとネジを締めこんでブラケットを確実に固定します。

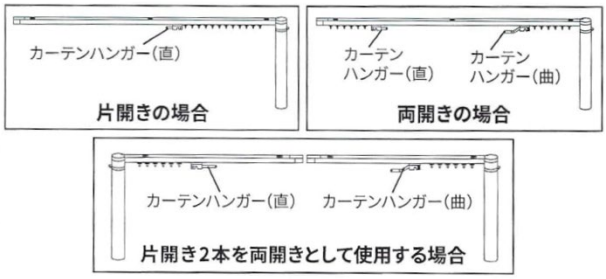


④ ブラケットに電動レールを取り付けます。
最初にブラケットの固定フックに引っかけて、次に手前側の可動フックに押し込みます。



⑤ リードランナーにカーテンハンガーを挿し込み、奥に突き当たるまで押します。





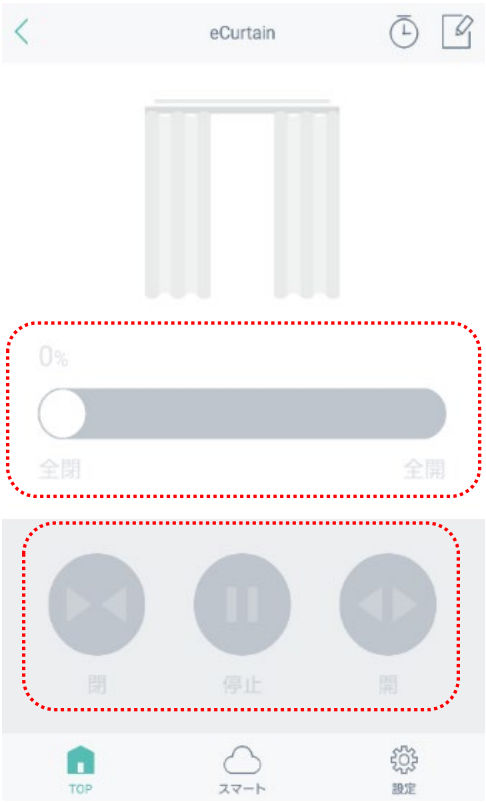
「抜け止めフック」が四角い穴に掛かったことを確認してください。

eCurtainのパネル画面について

バーにある「〇」をスライドさせると開閉ができます。

「＞」をタップすると詳細画面へ移動します。

詳細画面では、「タイマー設定」・「スライドバー」・「停止」・「開」・「閉」ができます。



目次に戻る

7. eCamera 2（LOOK）を設置する

※ご利用者(入居者)さま自身で登録を行います。

※eCamera2のセットアップについて、設置業者は登録を行わないでください。プライバシーの観点からユーザーが各自で登録します。なお、ユーザー（子アカウント）がQRコードをスキャンしてもセキュリティ上、視聴できません。

モデルルームでのご利用などアプリにて登録する必要がある場合は、以下のwebマニュアルをご参照ください。

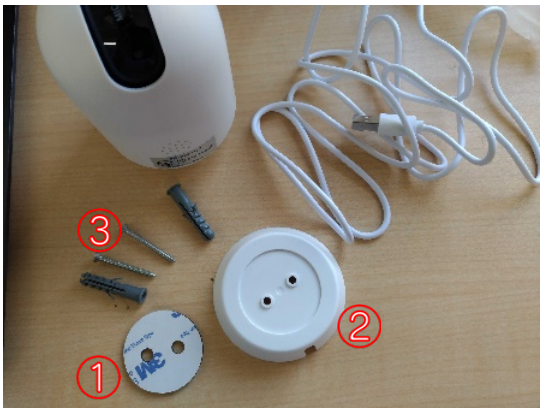
マニュアルページ

https://linkjapan.co.jp/question/look/

設置例

天井に取り付けた場合

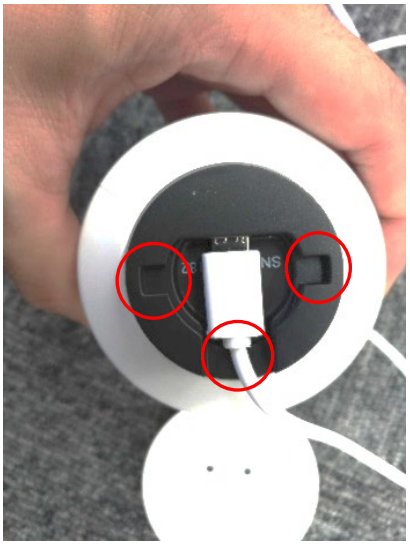
取付方法



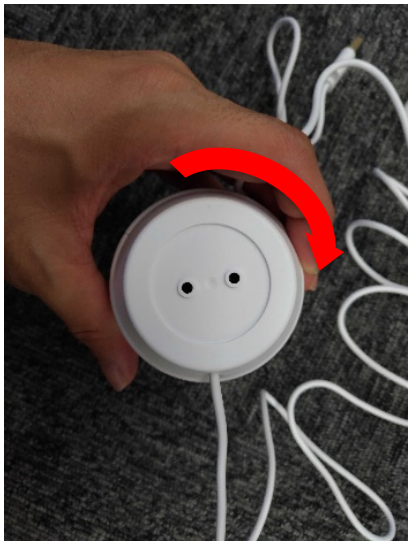
①両面テープ

②トレイ

③天井用固定ネジ(ALC用アンカー)

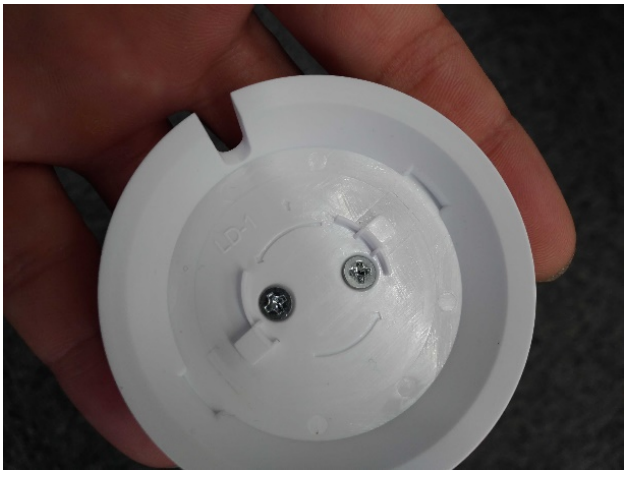


ケーブルの溝と本体底の溝を合わせます。



合わせたら10°位、右周りにひねります。

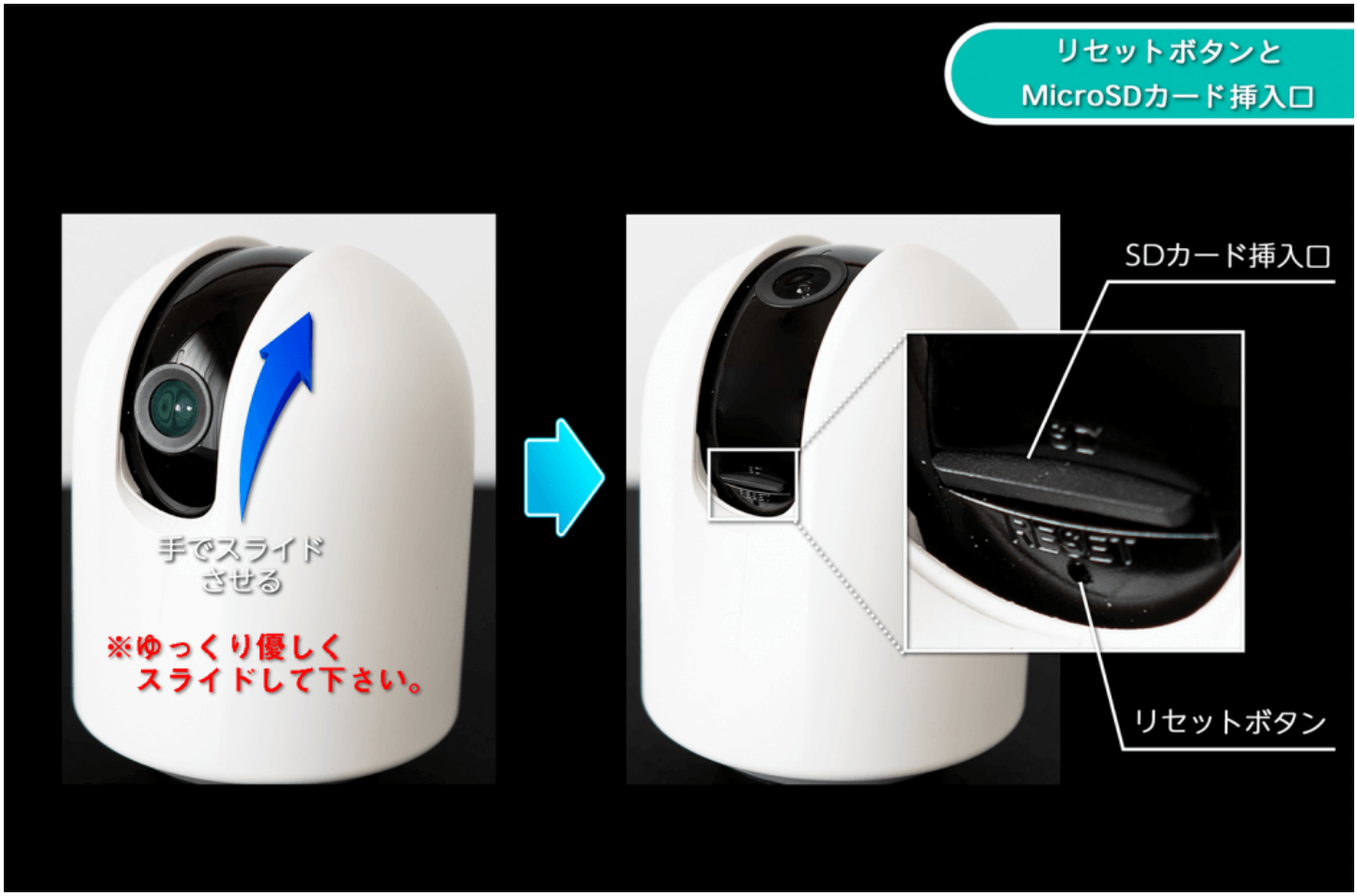
両面テープまたはネジで固定します。



8. 機器をリセットする

必要に応じて、機器をリセットしたい場合はこちらのページをご参照ください。

eCamera2(LOOK)をリセットする



必要に応じて、機器をリセットしたい場合はこちらのページをご参照ください。

解除する方法は２つあります。

1. **本体から**

   本体のリセットボタンをピンセットなどを使用して5秒以上長押しします。赤色点滅になるとリセット完了です。

2. **アプリから**

   アプリから削除して、本体のランプが赤色点滅になるとリセット完了です。

目次に戻る

9. ZigBee対応製品を登録する（ハブ,照明スイッチ,温湿度,開閉,ボタン,カーテン）

ハブ（ZigBee）を登録する

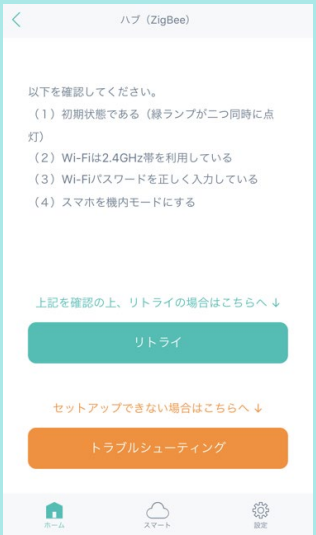
下記のマニュアル（ホームページ、YouTube動画）を参考にハブ（ZigBee）の登録を行ってください。

製品マニュアル

https://linkjapan.co.jp/question/hub-z/

動画マニュアル

https://youtu.be/EZznkCiWFpI



※セットアップが失敗した場合

以下をご確認ください。

1. ランプが2つ緑色点灯し、初期（リセット）状態であること
2. スマホ端末とハブが同じネットワークであること
3. 上記の1と2を確認後、Wi-Fiルーターの電源を抜き差しして再起動後し、セットアップを試す

一括でZigBee子機を登録する

一括でZigBee子機を登録することができます。複数機器がある場合は、一括登録が便利です。

一括で登録できない場合は、次項の「個別でZigbee子機を登録する」をご参照ください。

●事前確認

・ハブを登録していない場合は、ハブを登録してください。

・ハブの電源およびLANケーブルが接続されているか確認してください。

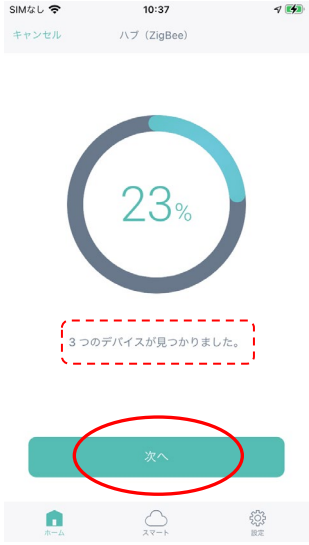
・一括で登録する子機をすべて初期状態にしてください。

TOP画面「＋製品」→ZigBee子機を選択します。

※ZigBee子機ならどれを選択しても可

子機が初期状態であることを確認して「次へ」をタップします。

検索中です。



“●つのデバイスが見つかりました。”と表示されれば、「次へ」をタップします。

「完了」をタップします。

TOP画面に表示され登録完了です。

目次に戻る

個別でZigBee子機を登録する

個別でZigBee登録する場合は、こちらをご参照ください。

●事前確認

・ハブを登録していない場合は、ハブを登録してください。

・ハブの電源およびLANケーブルが接続されているか確認してください。

・一括で登録する子機をすべて初期状態にしてください。

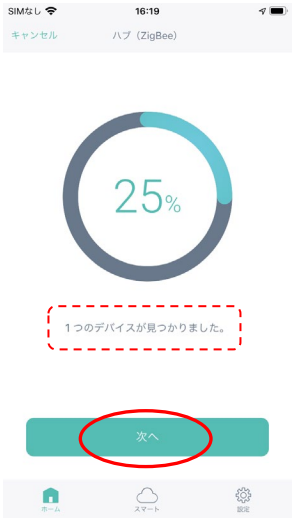
例として、温湿度センサーの登録手順を説明します。

TOP画面「＋」→「温湿度センサー」を選択します。

本体画面のWi-Fiマークが点滅していることを確認し、「次へ」をタップします。

機器がリセット状態でない場合は、「ランプが点滅していない」をタップしリセ

検索中です。



“１つのデバイスが見つかりました。”と表示されれば、「次へ」をタップし

お好みで名称と部屋を決め、「次へ」をタップします。

TOP画面に表示され登録完了です。

目次に戻る

YouTubeにZigBee子機の登録手順を解説する動画がございます。

動画マニュアル

https://youtu.be/K3Bsv76Q4SU

※セットアップが失敗した場合（ZigBee子機）

以下をお試しください。

1. 初期（リセット）状態であることを確認する
2. ハブの近くであることを確認する
3. 上記の1と2を確認後、Wi-Fiルーターの電源を抜き差しして再起動後し、セットアップを試す

目次に戻る

ZigBee対応製品をリセットする

リセット方法はこちらのページおよび以下の動画をご参照ください。

動画マニュアル

https://youtu.be/9pr8PAWqJcg

リセット方法は、アプリ画面からも確認ができます。

ZigBee子機ならどれを選択しても可。

「ランプが点滅していない」をタップします。

リセット方法を確認したい機器を選択します。

開閉センサー（DS2）をリセットする

① 上ボタンを押すと背面のフタが開きます。

②フタを外します。

③リセットボタンを8秒以上長押しし、ランプが点滅するとリセット完了です。

開閉センサー（DS3）をリセットする

リセットボタンを6秒以上長押しし、ランプが点滅するとリセット完了です。

目次に戻る

カーテンのリセットについて

カーテン（ZigBee）のリセットは以下の方法で行います。

1. カーテンモーターの電源を抜き差しし、ランプが赤色点灯が2秒ほど点灯し、消灯することを確認する。
2. 3回ボタンを押す。
3. 15秒以上赤ランプが点滅を続ければリセットは完了です。

※10秒以内で赤ランプ点滅が消えてしまう場合はリセットが完了いません。

上手くリセットできない場合

赤ランプが5秒ほど点滅し消灯する場合、ハブZigBeeがペアリングモードになっていることで、カーテンが意図せずにハブZigBeeにペアリングされている状態です。そのため正常にリセットできない可能性がございます。

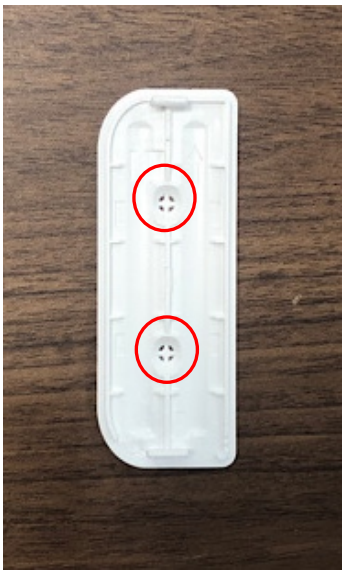
その場合、ハブZigBeeの電源を抜いてから、カーテンのリセットをお試しください。

10. ZigBee製品を設置する

開閉センサー（ZigBee）を設置する(DS2、DS3共通)

両面テープを使用

付属品の両面テープを貼り、ドアや窓に取り付けてください。



ネジを使用

付属ネジを使用する場合は、赤丸にネジを取りつけてください。

ドア（開き戸）

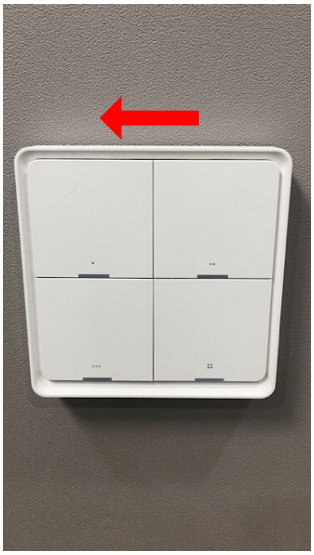
マグネットと本体を重ねる

ドア（引き戸）

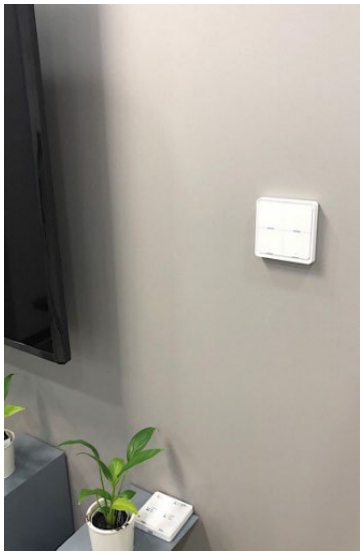
マグネットと本体を直角にする

マルチボタン（ZigBee）を設置する

付属の両面テープを背面に貼り、壁などに貼り付けます。



矢印方向にずらすとカバーを取り外しが可。取り付けの場合は反対方向にずらします。



温湿度センサー（ZigBee）を設置する

両面テープを使用

付属の両面テープを背面に貼り、壁などに貼り付けます。

スタンドを使用

背面カバーにスタンドを取り付けます。

ネジを使用

付属ネジを使用する場合は、背面カバーに取り付けてください。

目次に戻る

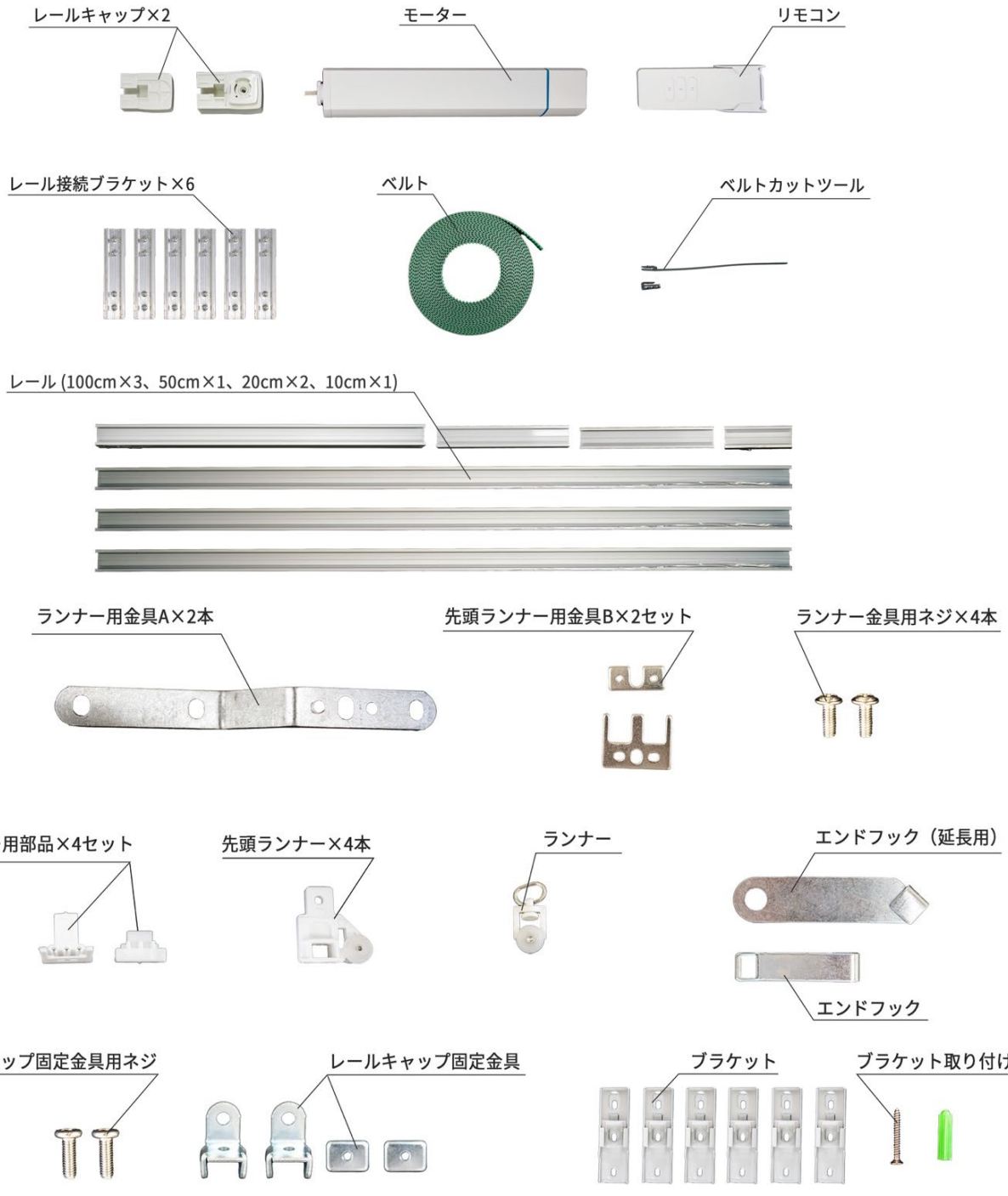
カーテン（ZigBee）を設置する

下記のYouTube動画を参考にカーテン（ZigBee）の登録を行ってください。

動画マニュアル

https://youtu.be/_jDTJ5h8iKs

付属品の確認

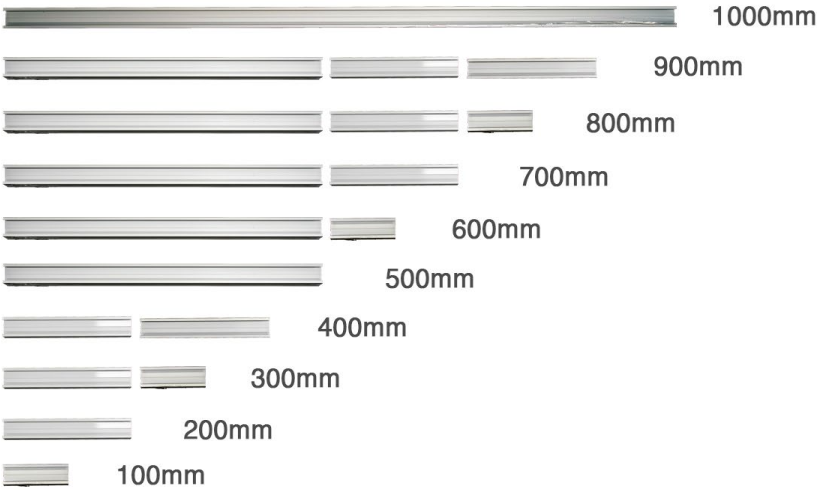


目次に戻る

レールの組立

まずは、設置したいレールの長さを決めて組み立てます。

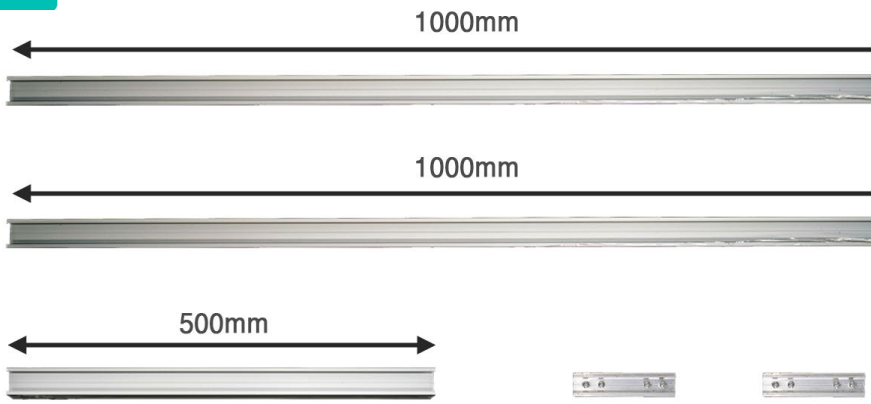
レールの組立て-1



組み立てるレールの長さを決めます。レールの組み合わせにより10cm単位で調整できます。

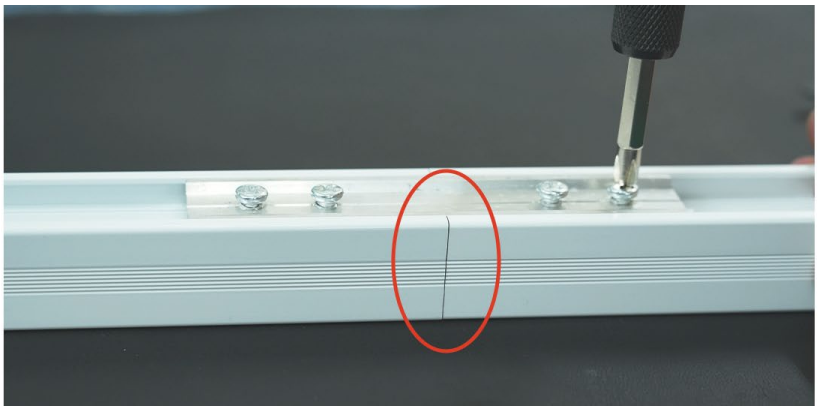
レールの組立て-2

例）2m50cmのレールを組み立てる場合



長さが決まったら、レールとジョイントを準備します。

レールの組立て-3



レールを接続するときは、接続部分に隙間無いことと、ズレがないことに注意してください。

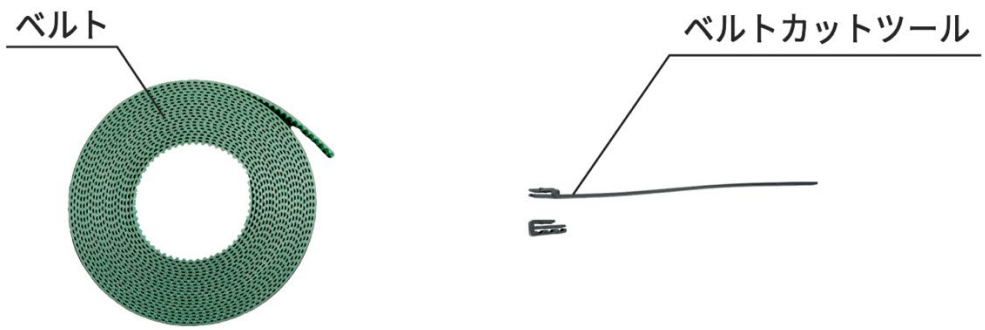
目次に戻る

ベルトのカット（両開き）

両開き用のベルトカット方法になります、この方法は片開き用には使用できませんのでご注意ください。

両開きのベルトのカット-1

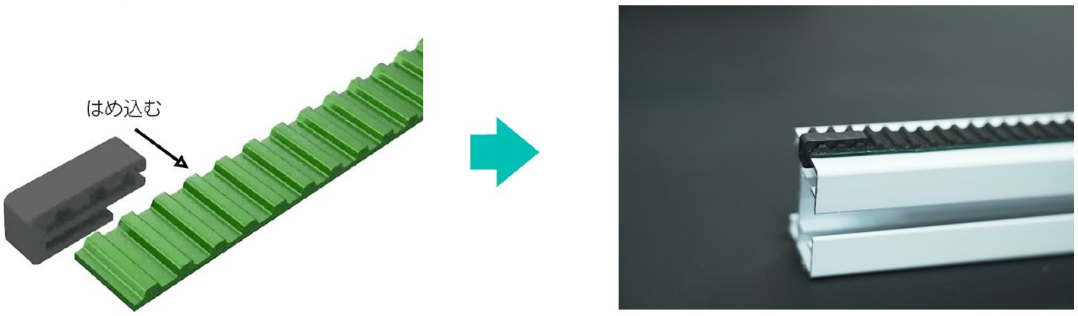
※この手順は両開き用です



ベルトカットを行います。上記の部品を用意してください。

両開きのベルトのカット-2

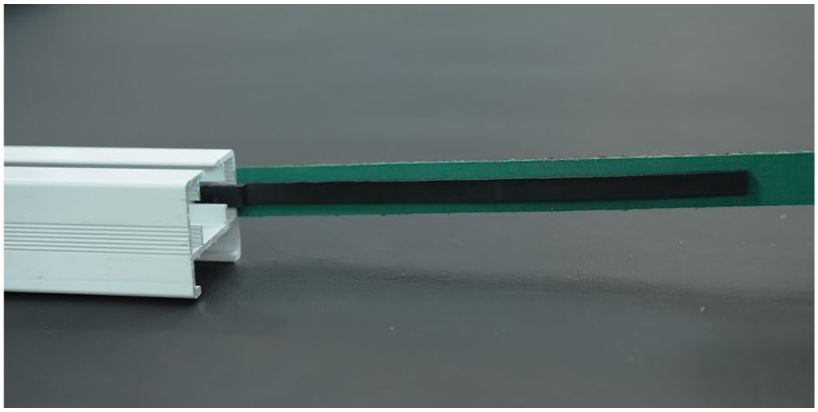
※この手順は両開き用です



ベルトの端にベルトカットツールの小さい方を取り付け、レールに固定します

両開きのベルトのカット-3

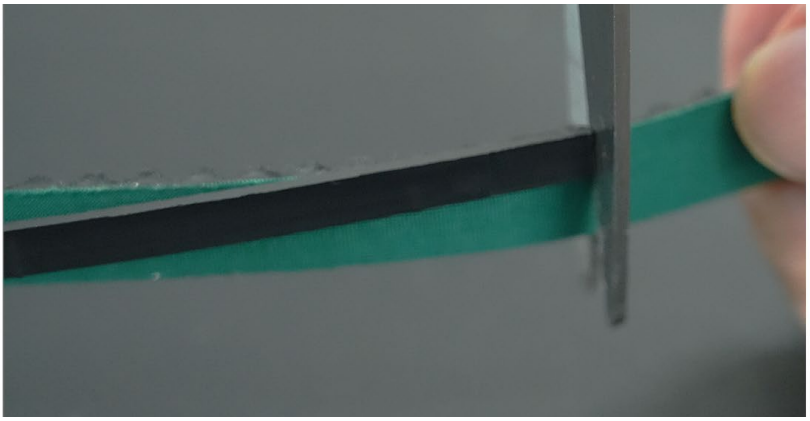
※この手順は両開き用です



レールの反対側に、大きい方のベルトカットツールを取り付けます。

両開きのベルトのカット-4

※この手順は両開き用です



ベルトカットツールの先端部分に合わせてベルトをカットします。

両開きのベルトのカット-5

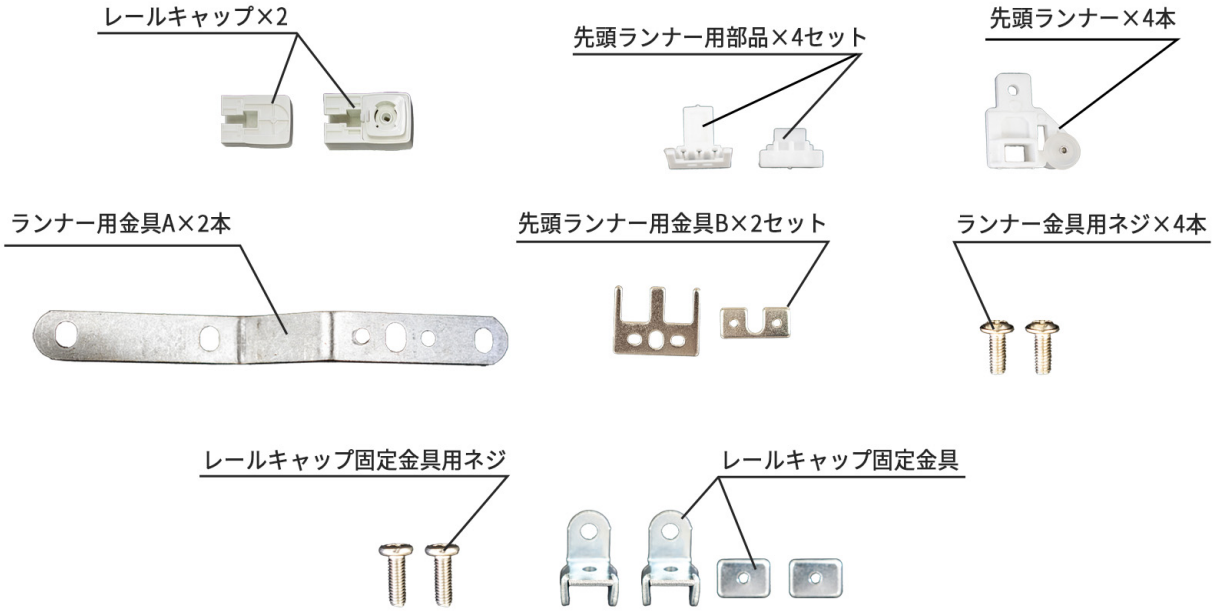
※この手順は両開き用です

同じ手順でもう一本ベルトをカットし、２本用意します。

これでベルトの準備は完了です。

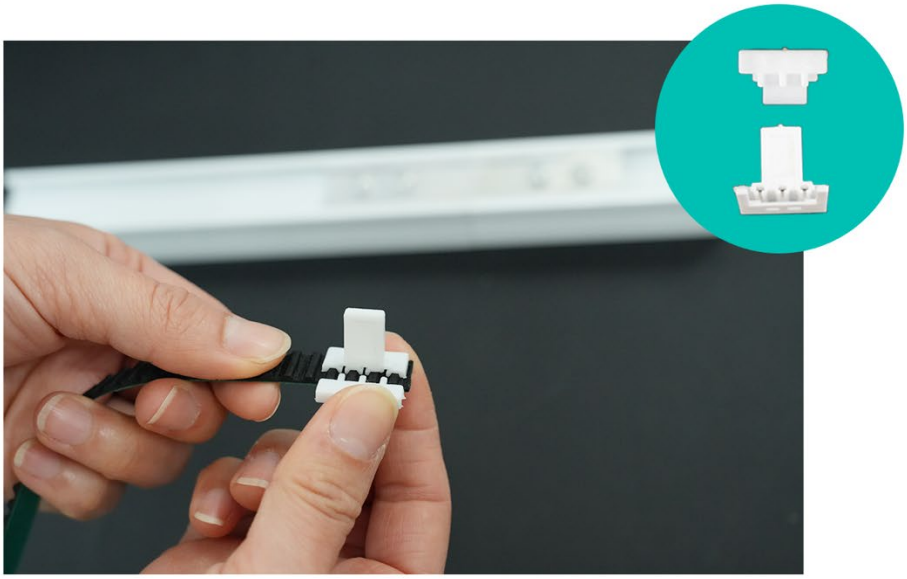
目次に戻る

両開きの組立て-1



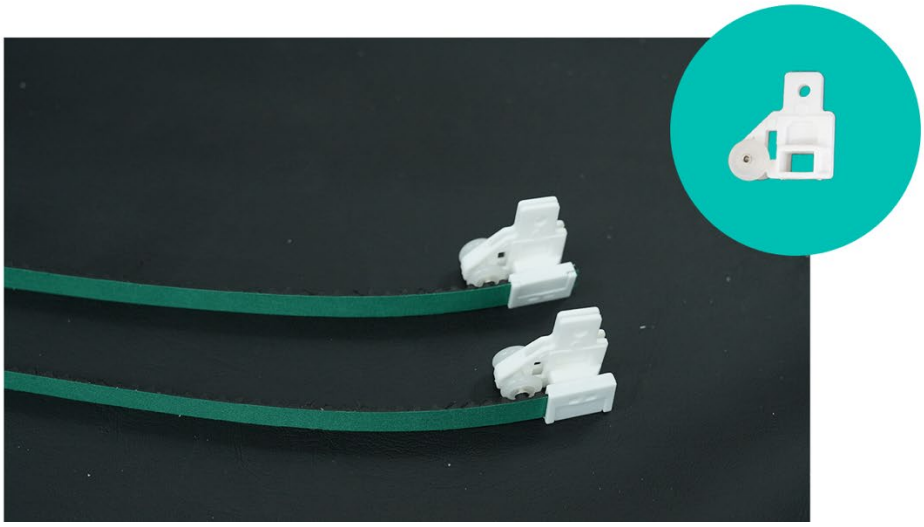
まずは、上記の部品を準備します。

両開きの組立て-2



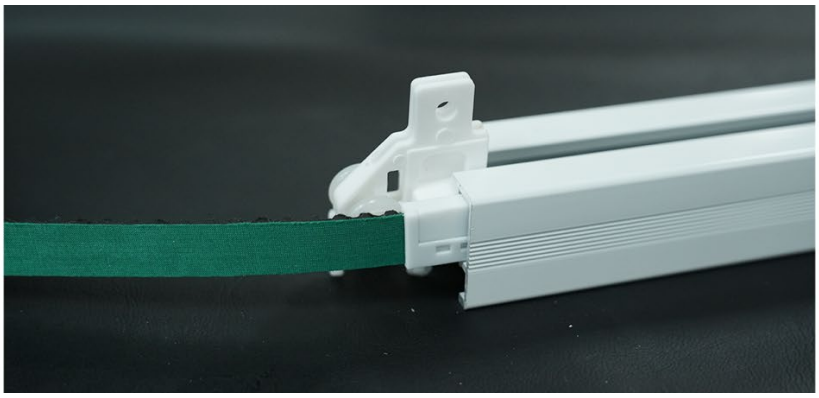
カットしたベルトの先端にランナー用部品を取り付けます。

両開きの組立て-3



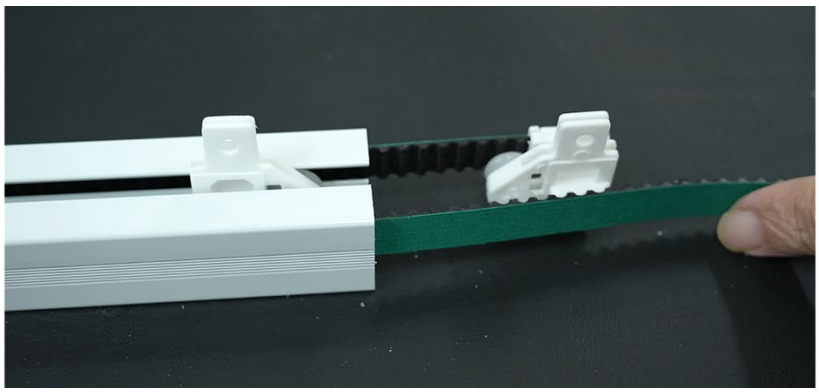
ランナー用部品に先頭ランナーを取り付けます。

両開きの組立て-4



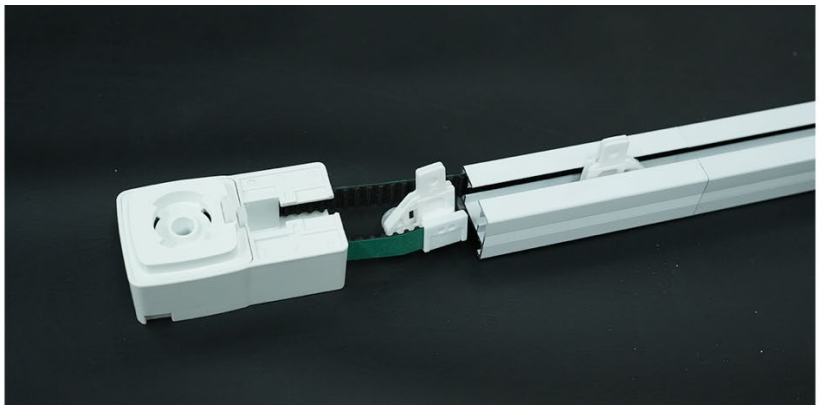
レールに一本目のベルトを挿入します。

両開きの組立て-5



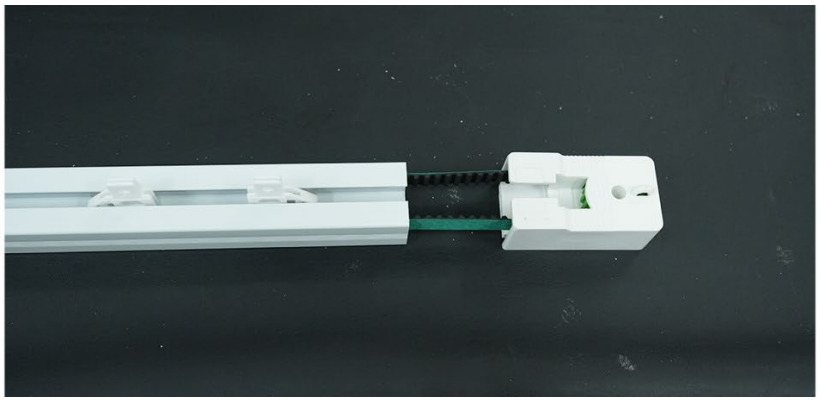
レールの反対側から、もう１本のベルトを挿入します。

両開きの組立て-6



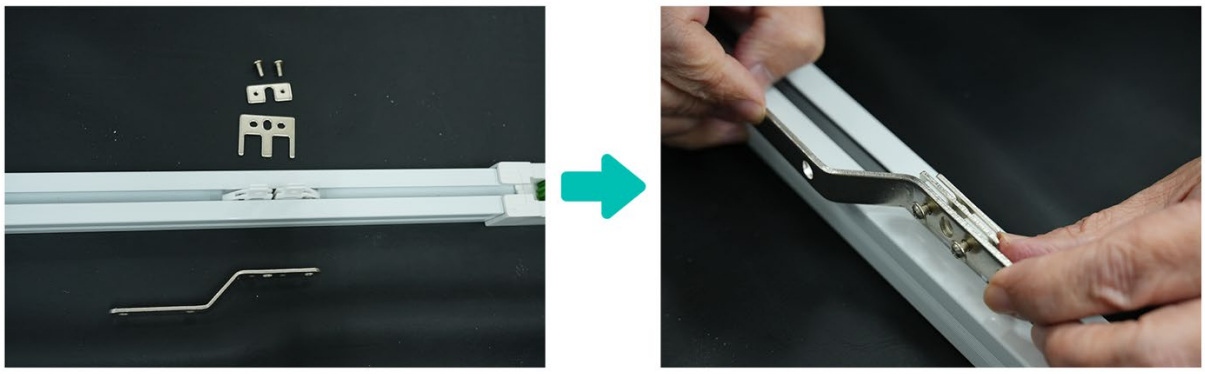
一本目のベルトをレールキャップに通して、先端に先頭ランナーを取り付けます。

両開きの組立て-7



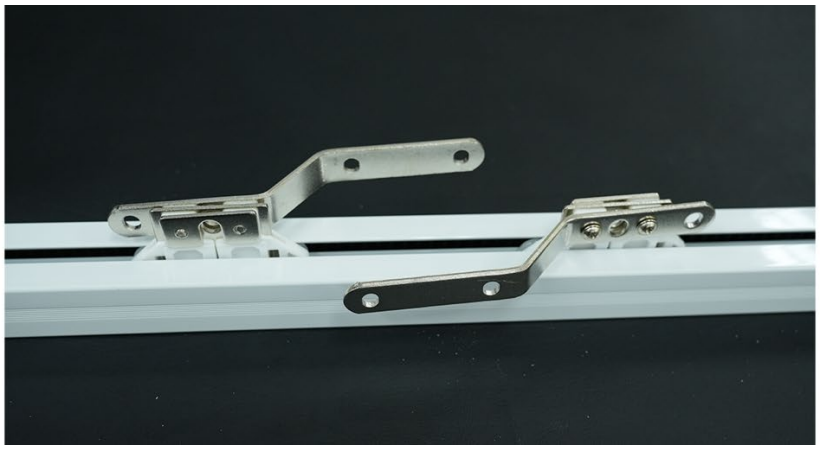
もう片方も同様に、レールキャップに通して先頭ランナーを取り付けます。

両開きの組立て-8



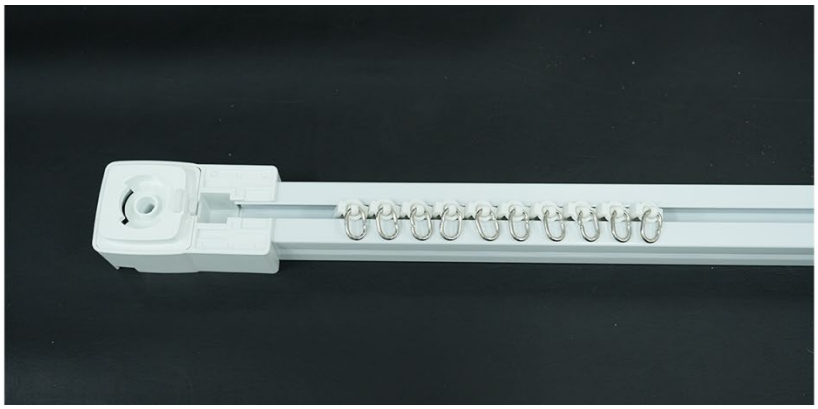
先頭ランナー２つを１つにまとめて、金属部品で固定します。

両開きの組立て-9



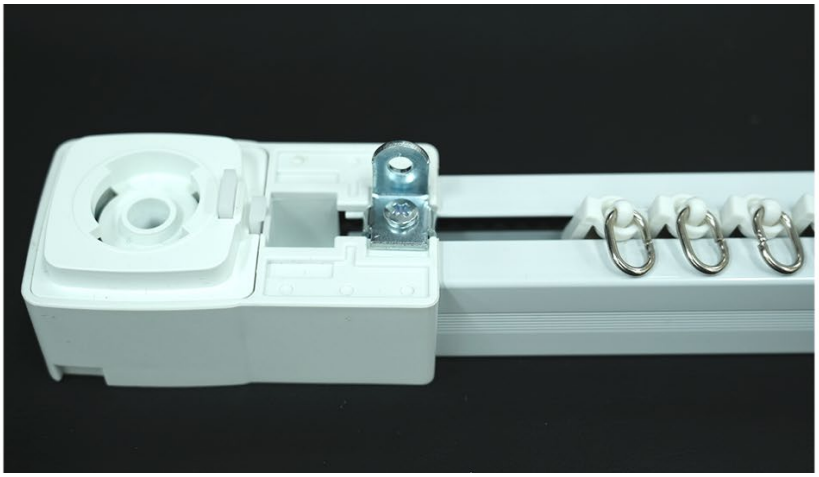
もう片方も同様にランナー用金具を取り付けます。

両開きの組立て-10



左右に、必要な数のランナーを入れます。

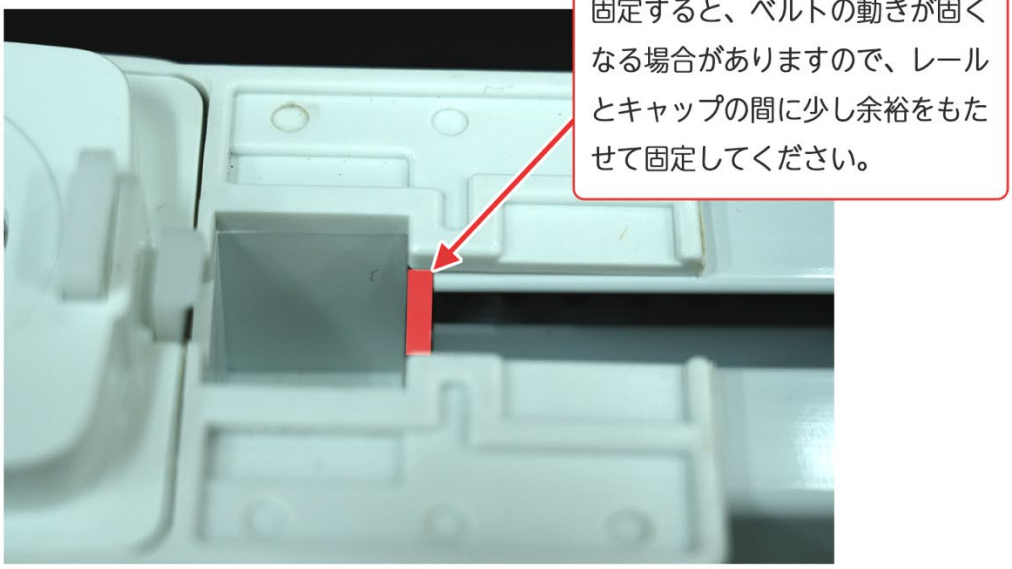
両開きの組立て-11



最後にレールキャップを専用金具で固定します。

目次に戻る

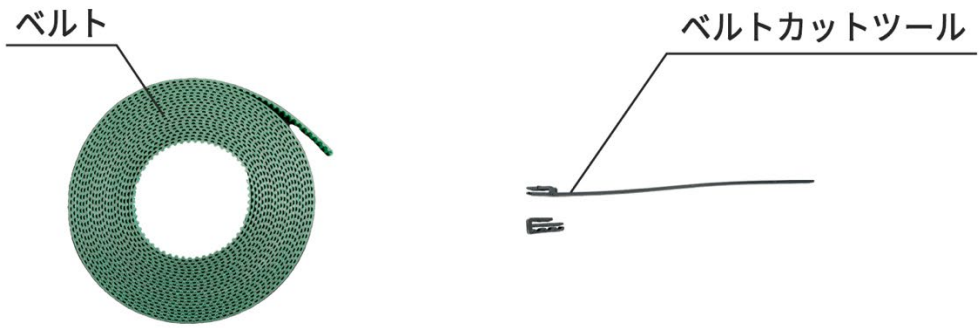
両開きの組立て-12



キャップを詰めすぎると、開閉が動きにくくなる場合がありますので注意してください。

片開きのベルトのカット-1

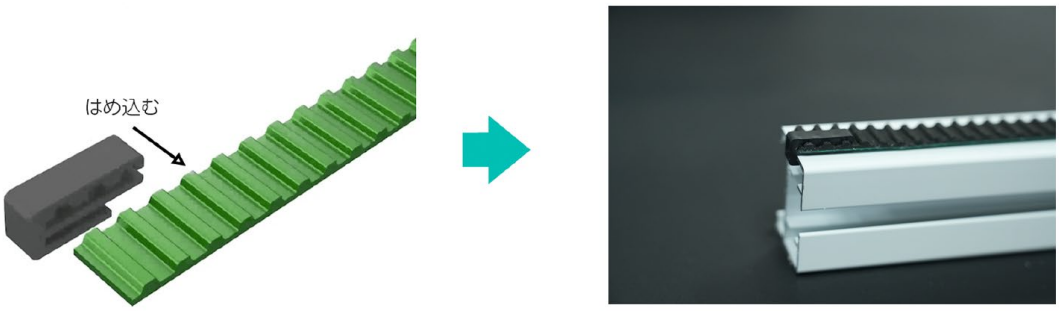
※この手順は片開き用です



ベルトカットを行います。上記の部品を用意してください。

片開きのベルトのカット-2

※この手順は片開き用です

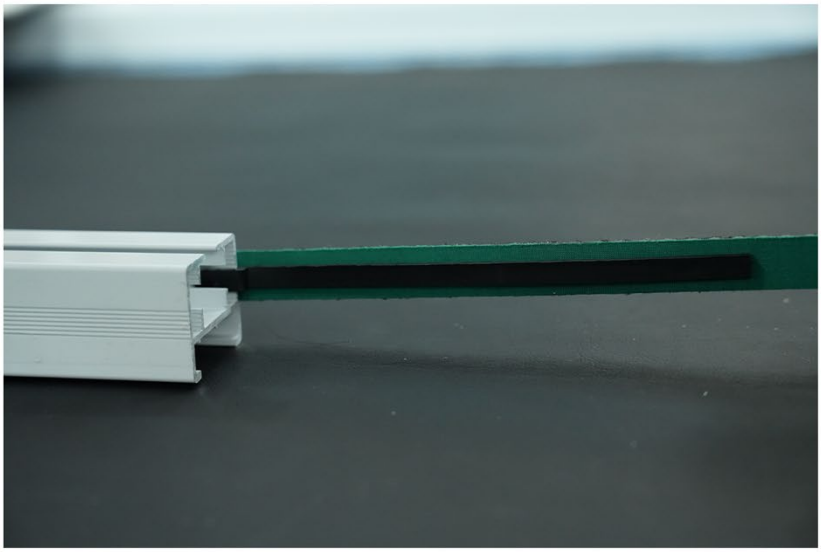


ベルトの端にベルトカットツールの小さい方を取り付け、レールに固定します

目次に戻る

片開きのベルトのカット-3

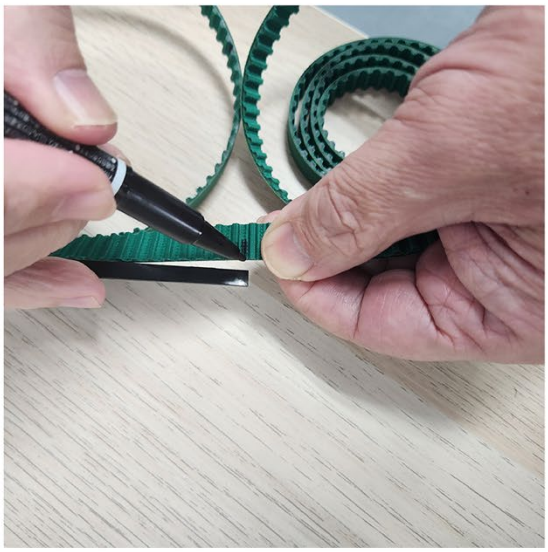
※この手順は片開き用です



レールの反対側に、大きい方のベルトカットツールを取り付けます。

片開きのベルトのカット-4

※この手順は片開き用です



「片開きのベルトのカット手順3」で測定したベルト部分に印をつけます。

片開きのベルトのカット-5

※この手順は片開き用です

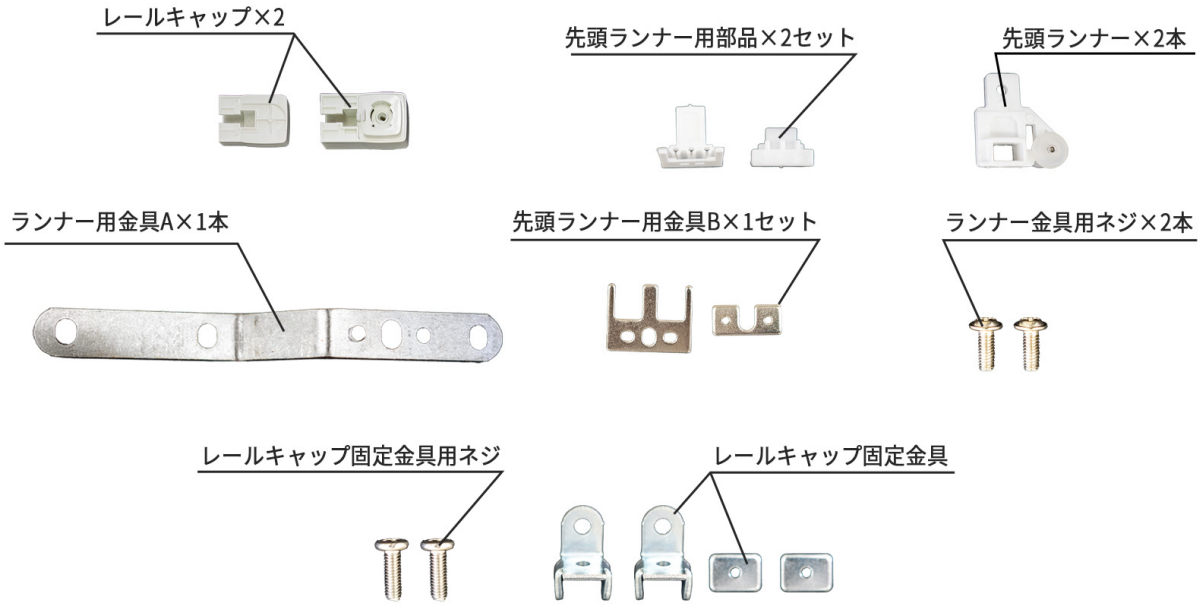
位置がずれないように、印部分をレールの端に固定します。

片開きのベルトのカット-6

※この手順は片開き用です

もう一度同じ長さを測定してカットします。（これで2倍の長さになります）

片開きの組立て-1



まずは、上記の部品を準備します。

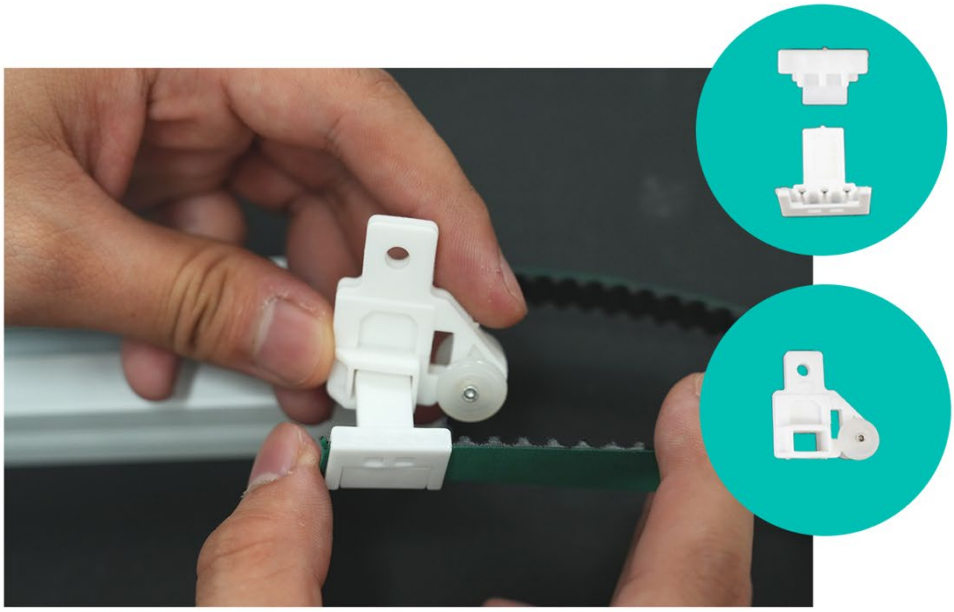
片開きの組立て-2

画像のようにベルトをレールの片側に通します。

片開きの組立て-3

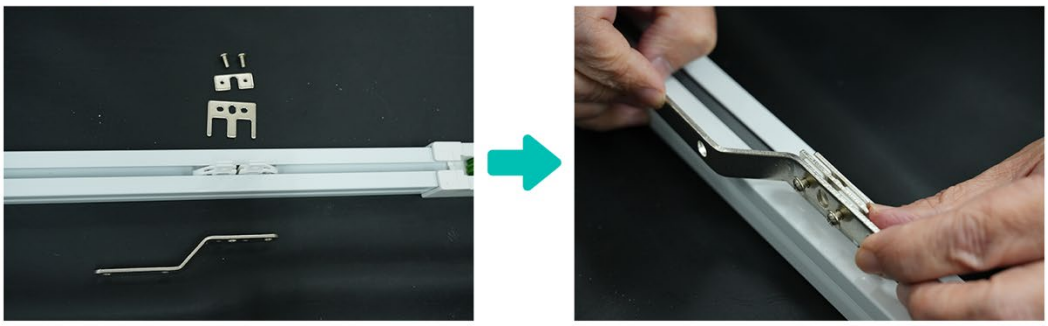
両端のレールキャップにもベルトを通します。

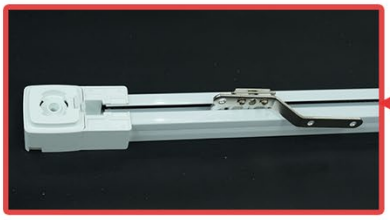
片開きの組立て-4



ベルトの先端に先頭ランナーを取り付けます。両側とも取り付けてください。

片開きの組立て-5

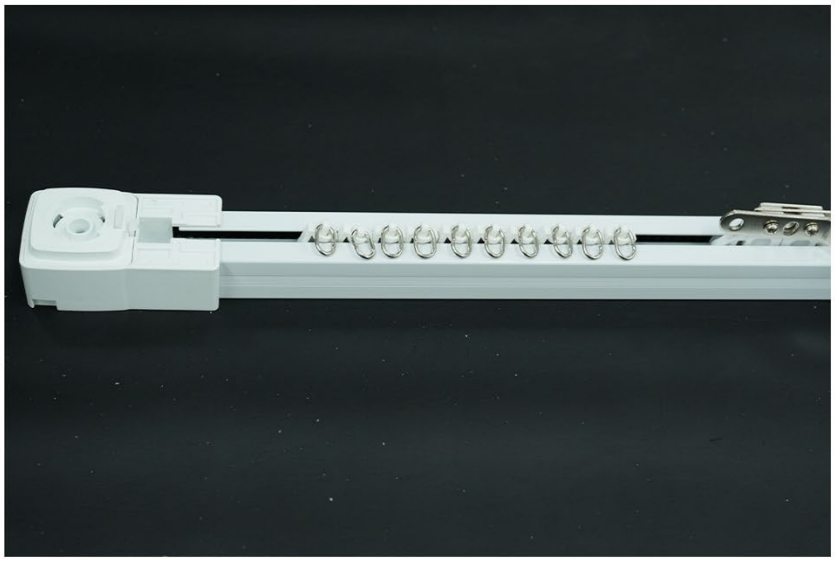




金具の取り付け方向にご注意ください。
モーターと反対側に金具が向くように取り付けをしてください。

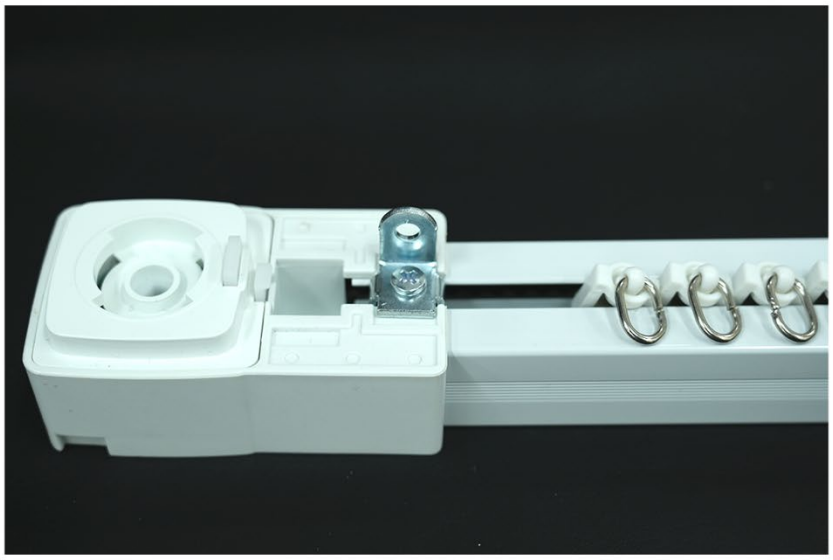
先頭ランナーに、先頭ランナー用金具を取り付けます。

片開きの組立て-6



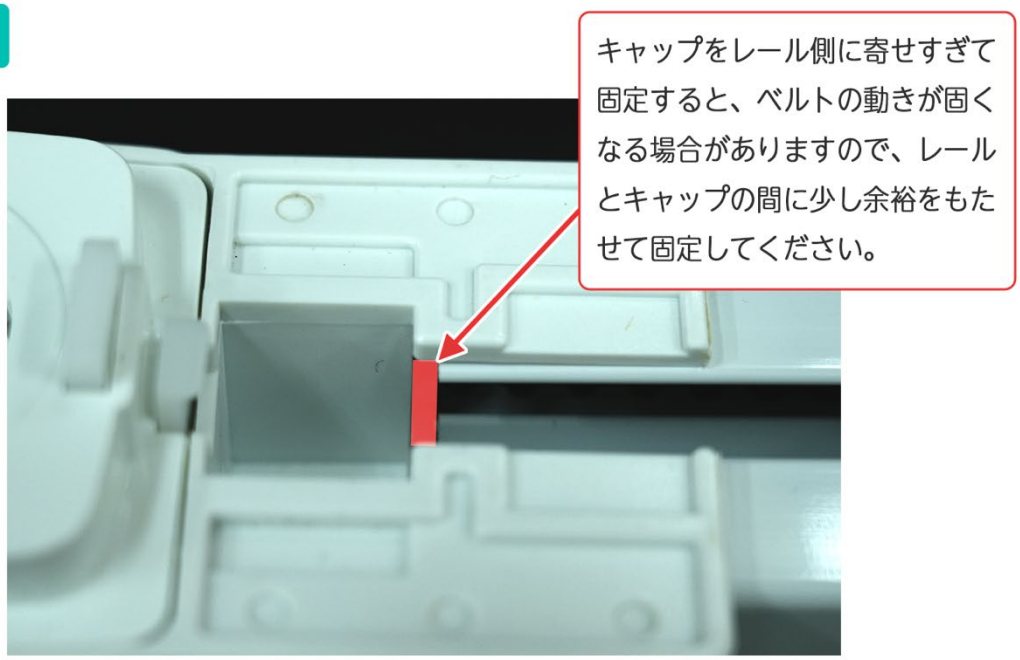
ランナーを必要な数だけ入れます。

片開きの組立て-7



最後にレールキャップを専用金具で固定します。

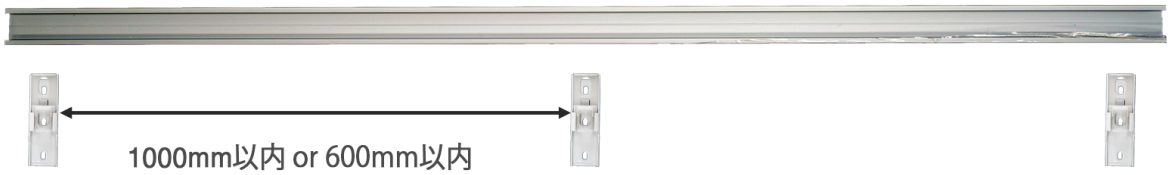
片開きの組立て-8



キャップを詰めすぎると、開閉が動きにくくなる場合がありますので注意してください。

これで、片開きの組立は完了です。

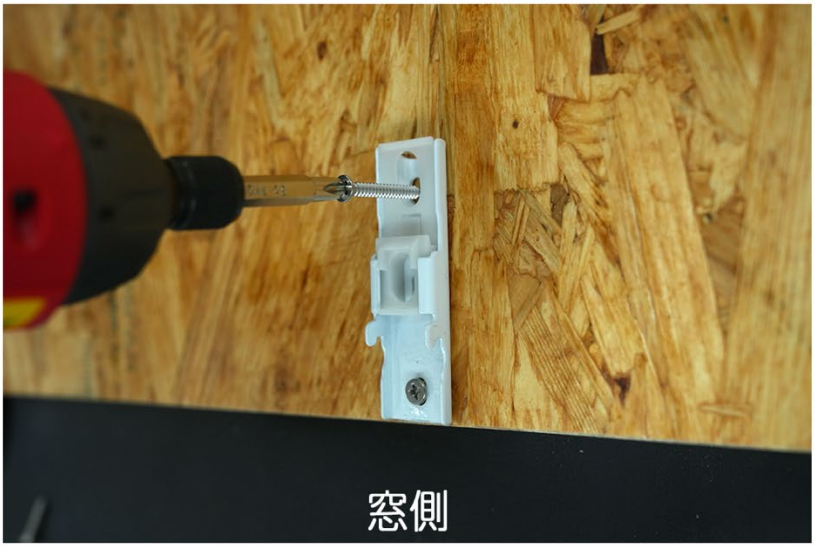
レールの取付-1



基本的にブラケットは1000mm以内の間隔で取り付けてください。
カーテンの重量が重い場合は、600mm以内で取り付けてください。

まずはブラケットを天井に固定するため、ブラケットの取り付け位置を決めます。

レールの取付-2



ブラケットの向きに注意しながら、ネジで天井に固定します。

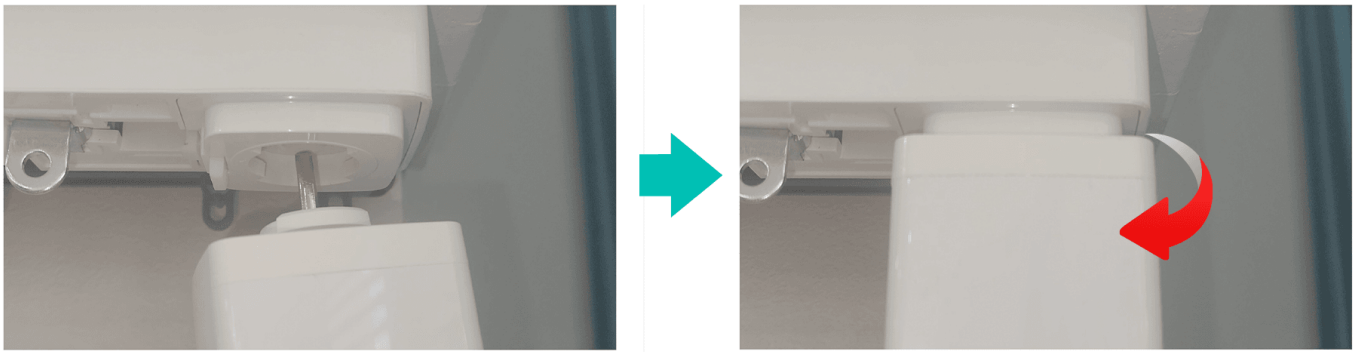
レールの取付-3

ブラケットの爪に合わせてレールをはめ込んで取り付けます。

これでレールの取り付けは完了です。

モーターの取付

回す方向はどちらでも大丈夫です。



モーターは、溝を合わせてはめ込んだ後、カチッと音がするまで回転させて下さい。

目次に戻る

リモコンのペアリング方法

2022年8月～　～2022年7月

！注意！

スマートカーテンのモーター仕様変更に伴い、

対応のリモコンしかご利用いただけません。

○2022年8月納品分以降

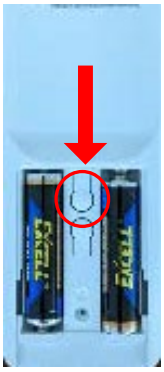
リモコン背面の上部に取得規格等の情報が記載されています。
画像の左側のリモコンになります。

○2022年7月以前納品分

画像の右側のリモコンです。リモコンの電池蓋に取得規格等の情報が記載されています。左右のリモコンに互換性は無いためご注意ください。また対応モーターであれば、どちらのリモコンでも複数のカーテンを同時に操作することが可能です。

カーテン（ZigBee）とリモコンのペアリング方法

モーター底面にあるボタンを1回だけ押し、リモコンペアリングモードにします。



リモコンの電池蓋を外し、中央部にあるボタンを1回押します。

モーターが少し動くと、リモコンとのペアリングが完了となります。

操作できなくなった場合

最近反応が良くない・うまく操作できなくなってきた、という場合は電池残量が少ない可能性がございます。一度電池交換をお試しください（単４電池2本）。

それでも改善されない場合は、ペアリングを再度行ってみてください。

リモコンのペアリング解除方法

STEP 1

上下ボタン（開ける・閉める）を同時に長押しします。

STEP 2

モーターが3回 回ったらボタンを離します

STEP 3

上ボタン（閉める）を長押しします

STEP 4

モーターが3回 回ったらボタンを離します

STEP 5

少し待つと、ペアリング解除され、リモコン操作ができなくなります

目次に戻る

11.HEMSハブを設置する

HEMSハブについて

HEMSハブとは、住宅に設置されているECHONET Lite機器をHomeLinkアプリ内で一括管理・操作できるようにするハブです。
HEMSハブに対応するECHONET Lite機器は、エアコン、パワコン、分電盤、V2H、電動シャッター、蓄電池、エコキュートの7種類になります。

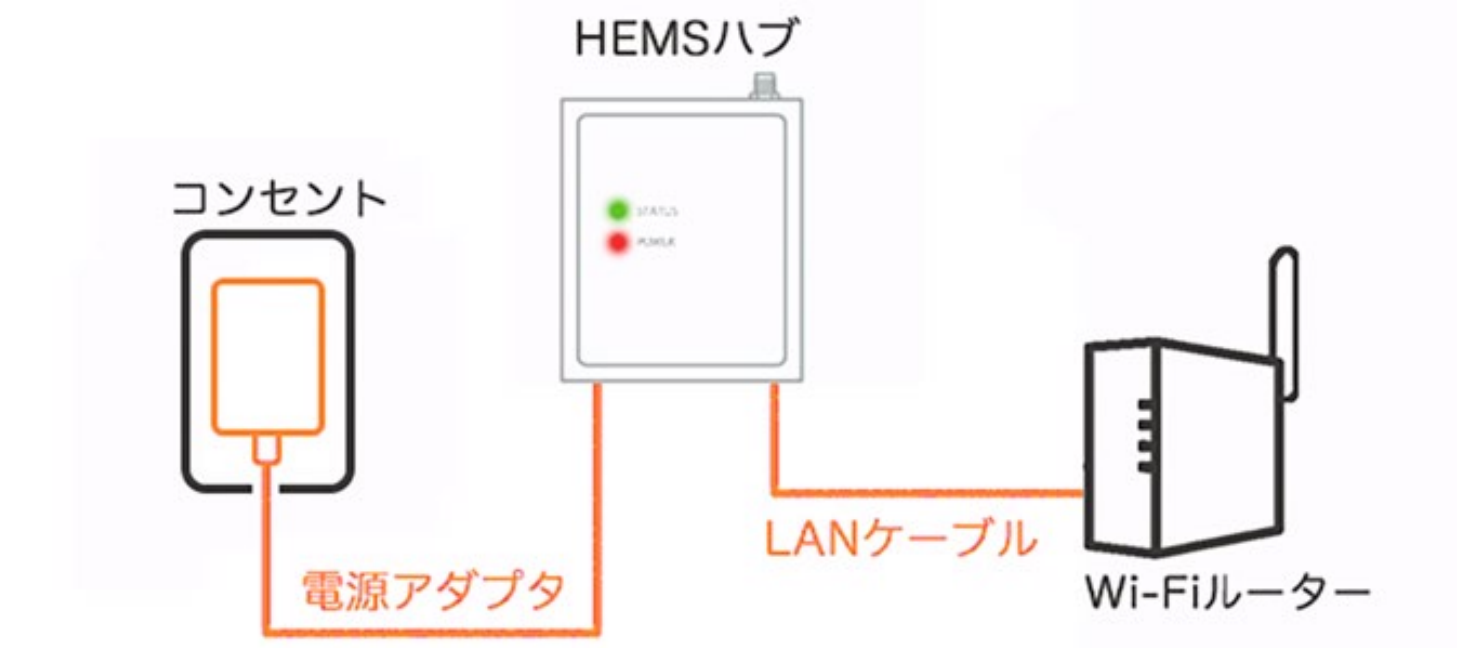
ECHONET Lite機器の事前確認

HEMSハブのセットアップを行う前に、ECHONET Lite機器を予めWi-FiルーターへWi-Fiルーターに接続しておいてください。接続方法については、各ECHONET Lite機器のマニュアル等をご覧ください。

また、ご不明な点がある場合は、各ECHONET Lite機器のメーカーへWi-Fi接続方法についてお尋ねください。

※エコキュートの場合、「外部接続」や「HEMS接続」をオンにしている必要が御座います。一部機種で必要な設定になりますので、ご確認ください。

HEMSハブをセットアップ前の事前準備



付属のLANケーブルを使用し、Wi-FiルーターとHEMSハブを接続してください。
次に、電源ケーブルを使いHEMSをコンセントに接続ください。2つのランプが点灯していれば事前準備は完了です。

HEMSハブのセットアップ

HEMSハブのセットアップでは、セットアップ後にそのまま一括でECHONET Lite機器の追加を行うことができます。
セットアップ手順では、HEMSハブの追加から機器の一括登録まで行います。

「＋ボタン」をタップ

ハブを選択し　「HEMS Hub」をタップ

「LAN」ケーブルを選択し、OKをタップ

次へをタップ

ハブ本体のQRコードをスキャン。MACが記載されている方のQRコードをスキャンください

続けてサブデバイスの追加をタップ

ECHONET Lite機器（今回はエアコン）が検出されたので「次へ」をタップ

セットアップ完了

目次に戻る

ECHONET Lite機器の個別追加

「＋ボタン」をタップ

HEMS機器を選択し、登録したいECHONET Lite機器の種類をタップ

「次へ」をタップ

目次に戻る

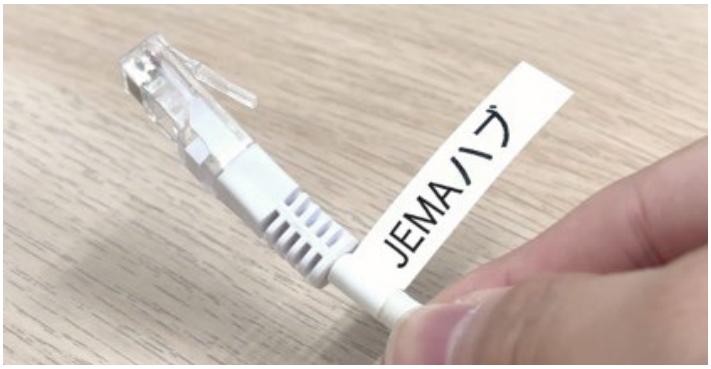
12. JEMAハブを設置する

JEMAハブとは

JEMAハブとは、住宅に設置されているJEM-A機器をHomeLinkアプリ内で一括管理・操作できるようにするハブです。
JEMAハブに対応するJEM-A機器は、主に電気錠ですが、JEM-A端子を使用する機器であれば基本可能です。
また、JEMAハブは１口のJEM-A端子がありますので、JEM-A機器の台数に合わせてJEMAハブをご用意ください。

セットアップ前の事前確認

JEMAハブに繋がっているLANケーブルを、お使いのWi-Fiルーターに接続すれば、事前準備は完了です。
緑と赤、２つのランプが点灯していることを確認しセットアップへ進んでください。

1. 

2.
3.

目次に戻る

JEMAハブをセットアップする

「＋ボタン」をタップ

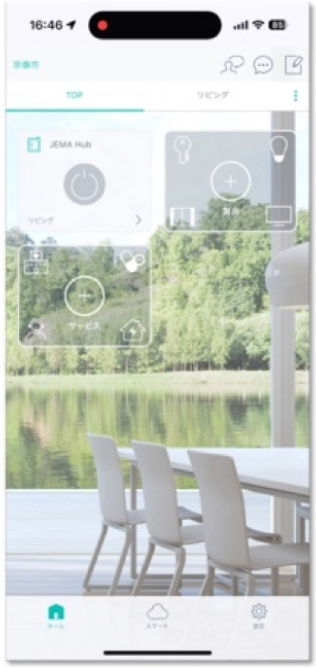
ハブを選択し、「JEMA Hub」をタップ

「LAN」ケーブルを選択し、OKをタップ

「次へ」をタップ

ハブ本体のQRコードをスキャン。MACが記載されている方のQRコードをスキャンください

「次へ」をタップ



目次に戻る

14. ドアハブを連携する

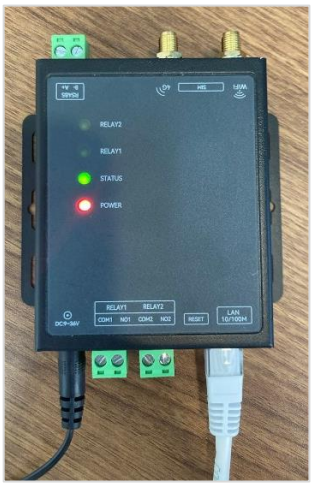
ドアハブとは

ドアハブとは、集合住宅にて入居者がHomeLinkアプリからエントランスドアなどを操作可能にする、IoT機器です。
使用する場合は、共有させたいドアにドアハブを接続し、HomeLinkアプリ上で設定をする必要がございます。

ドアハブのセットアップ

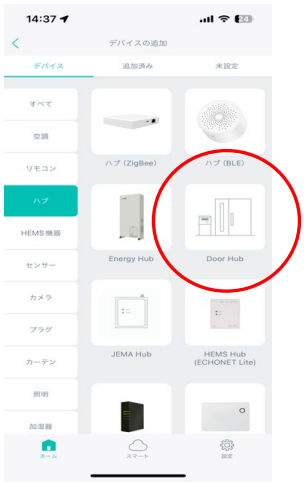
LANケーブル接続にてセットアップが可能です。

ドアハブ本体を登録する（LANケーブルで接続）



ドアハブを有線LANでネットワークに接続します。
POWERランプとSTATUSランプが点灯しているのを確認してください

ドアハブ登録用の部屋（ホーム）を作成し、デバイスの新規追加を選択



ハブのタブから「DoorHub」を選択します

「LANケーブル」を選択します

「2ポート」を選択します

次へをタップ

ハブ本体側面に記載されているQRコードを読み込むことで、セットアップが完了します。

目次に戻る

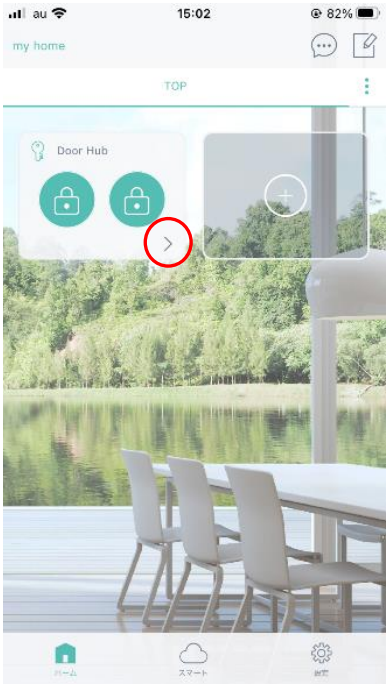
ドアハブのアプリアホーム上の表示

左側がRELAY1、右側がRELAY2となります。

本体のRELAYランプにドアの状態が表示されます。

2台までドアを追加することが可能ですので、RELAYも2つあります。

各部屋への登録



各部屋の登録に進む前に、あらかじめデバイスの詳細情報から「デバイスID」を長押ししてコピーしてください。

詳細設定画面にて、

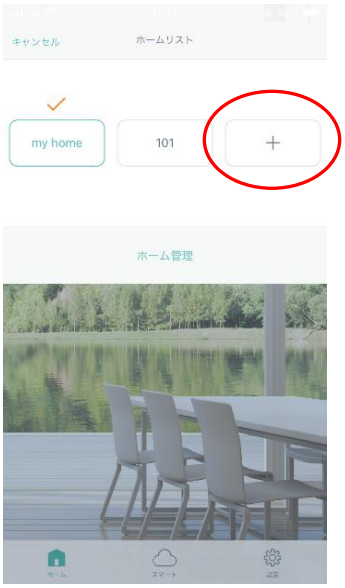
装置番号・デバイスID・ファームウェア情報の

3つすべてが確認できるのがコピー元です。

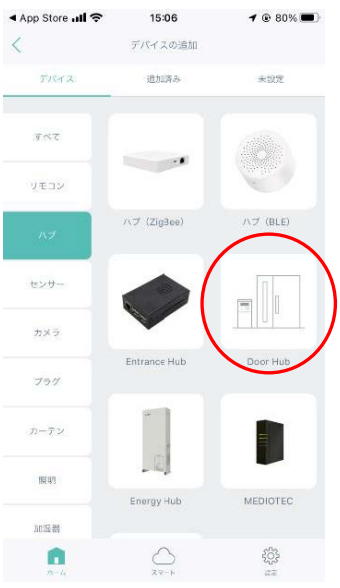
コピー元を削除するとコピー先での

操作ができなくなります。

目次に戻る



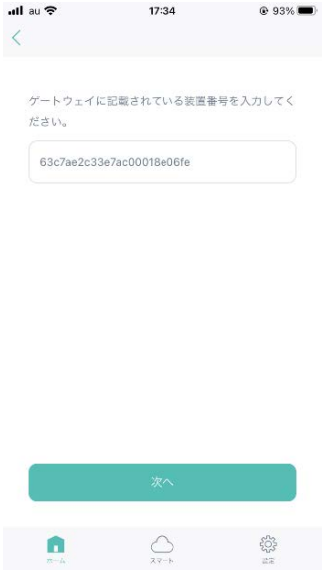
ホームリスト、またはホーム管理画面から入居者用の部屋を作成・選択します

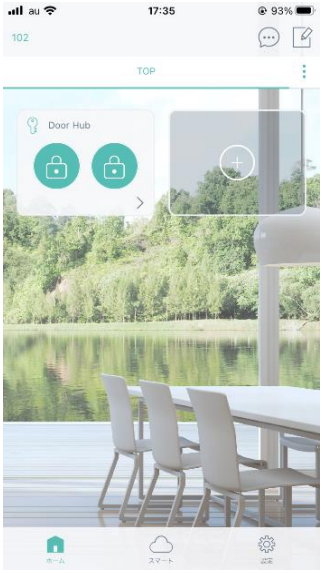


デバイスの新規追加もしくは「＋」から「DoorHub」を選択します

「シェアリング」以外を選択し登録を進めると、ほかの部屋とドアハブとの細づけがすべて解除されますのでご注意ください。

「シェアリング」を選択します





前ページにてコピーした「デバイスID」を貼り付けて、「OK」を押せば追加完了です。

15. 他社製品を連携する

Amazon Alexaを連携する

Alexaでできることは以下の表をご参照ください。

家電	アイコン	できること	発話	備考
照明		**電源on/off**	「照明をつけて（消して）」	HomeLinkで「照明」という名前を任意の名前に変えれば「〇〇つけて(消して)で操作可能です」
		明るさ切り替え	「照明を明るくして（暗くして）」	調光機能に対応した照明器具に限ります
テレビ		**電源on/off**	「テレビをつけて（消して）」	HomeLinkでテレビの名前を変えれば任意の名前で操作可能です。
		チャンネル切替	「チャンネルを変えて」 「チャンネルを3にして」	
		ボリューム操作	「ボリュームを下げて（上げて）」 「ボリュームを5下げて（上げて）」 「テレビをミュートにして（ミュートを解除して）」	
エアコン		**電源on/off**	「エアコンをつけて（消して）」	HomeLinkでエアコンの名前を変えれば任意の名前で操作可能です。
		モードの切替	「エアコンを暖房にして（冷房にして）」	
		温度の切替	「エアコンを21℃にして」 「エアコンの温度を下げて（上げて）」 「エアコンを3℃上げて」	
扇風機		**電源on/off**	「扇風機をつけて（消して）」	HomeLinkで「扇風機」という名前を任意の名前に変えれば「〇〇つけて(消して)で操作可能です」
その他		**電源on/off**	「〇〇をつけて（消して）」	上記以外の家電を登録する際にご利用ください。
ePlug ePlug2 ePlug3		**電源on/off**	「〇〇をつけて（消して）」	利用するにはePlugが必要です。 HomeLinkでePlugの名前を変えれば任意の名前で操作可能です。
照明スイッチ (Zlgbee)		**電源on/off**	「〇〇をつけて（消して）」	
eLamp		**電源on/off**	「〇〇をつけて（消して）」	HomeLinkでeLampの名前を変えれば任意の名前で操作可能です。
		調光	「〇〇を△△%にして」 「〇〇を明るくして（暗くして）」 「〇〇を△△%明るくして（暗くして）」 「〇〇を最大（最低）の明るさにして」 「〇〇の明るさを半分にして」	
		調色	「〇〇を電球色（寒色）にして」 「〇〇を赤（緑・青・黄色・オレンジ色…）にして」	
eRemote5 eSensor2 eAir 温湿度センサー (Zigbee)		**温度の確認**	「〇〇の温度は？」 「〇〇は何度？」	設定後、Alexaへの反映まで時間がかかる場合があります。
カーテン(ZigBee) eCurtain		**カーテンの開閉**	「カーテンを開けて（閉めて）」 「カーテンを半分開けて（〇〇パーセント開けて）」	※eCurtainの場合、 HomeLinkでeCurtainの名前を「カーテン」に変更してください。
加湿器		**電源on/off**	「加湿器をつけて（消して）」	HomeLinkで加湿器の名前を変えれば任意の名前で操作可能です。

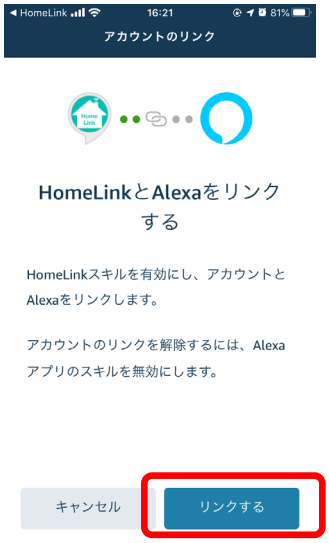
目次に戻る

Alexaと連携する

以下の手順よりAlexaとの連携を行ってください。

「スマート」→「音声操作」→「Amazon Alexa」を選択します。

「連携へ」を選択します。



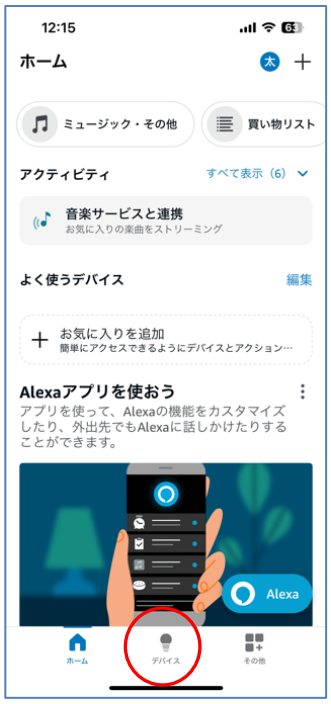
「リンクする」を選択します。

“ 連携完了 “が表示され、音声操作ができるか確認します。

以上で設定完了です。

Alexaアプリからの検出デバイスを確認する方法

Alexaアプリの「デバイス」より検出したデバイスを確認できます。



スキルを無効にする

HomeLinkアプリから操作できAlexaから操作できない場合は、スキルを無効にして再度有効にすると改善される場合もあります。

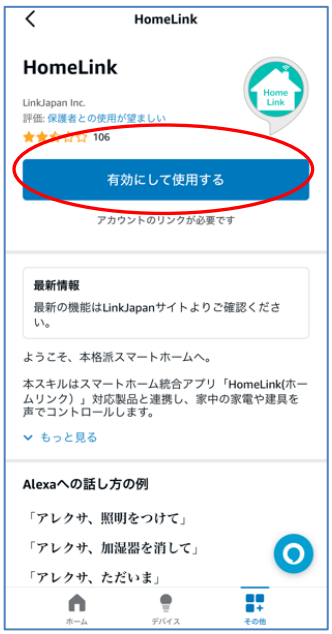
Alexaアプリの「その他」→「スキル・ゲーム」をタップします。

「マイスキル」を選択します。

HomeLinkを選択します

※マイスキルにHomeLinkが表示されていない場合は、スキルが有効になっていません。

「スキルを無効にする」を選択する。



無効になると「有効にして使用する」をタップします。

目次に戻る

美和ロックを連携する

HomeLink対応のスマートロックについて

HomeLinkアプリ対応となる美和ロック社のスマートロック（動作保証製品）は、下記となります。

↑動画マニュアル

https://linkjapan.co.jp/question/miwalock/

製品情報は以下のページをご参照ください。

https://www.miwa-lock.co.jp/tec/products/smartlock/

<対応スマートロック>

●DTRSシリーズ

●DTRS Ⅱ smartシリーズ

https://www.miwa-lock.co.jp/tec/products/smartlock/sl_dtrs.html

●PiACK IIシリーズのうち、型番が「DTFL2B」で始まる製品

●PiACK II smartシリーズ

https://www.miwa-lock.co.jp/tec/products/smartlock/sl_piack2.html

登録手順としては、以下の流れとなります。

①

アプリにハブ（BLE）を登録する

②

スマートロックをペアリング待機状態にする

③

アプリにスマートロックを登録する

1. ハブBLEをセットアップする

ハブBLEをセットアップ（21ページ）を参考に、ハブBLEをセットアップしてください。

2. スマートロックをペアリング待機状態にする

DTRS Ⅱ smart・DTRSは、こちらのページからご参照ください。

PiACK II smart・PiACK IIは、P13からご参照ください。

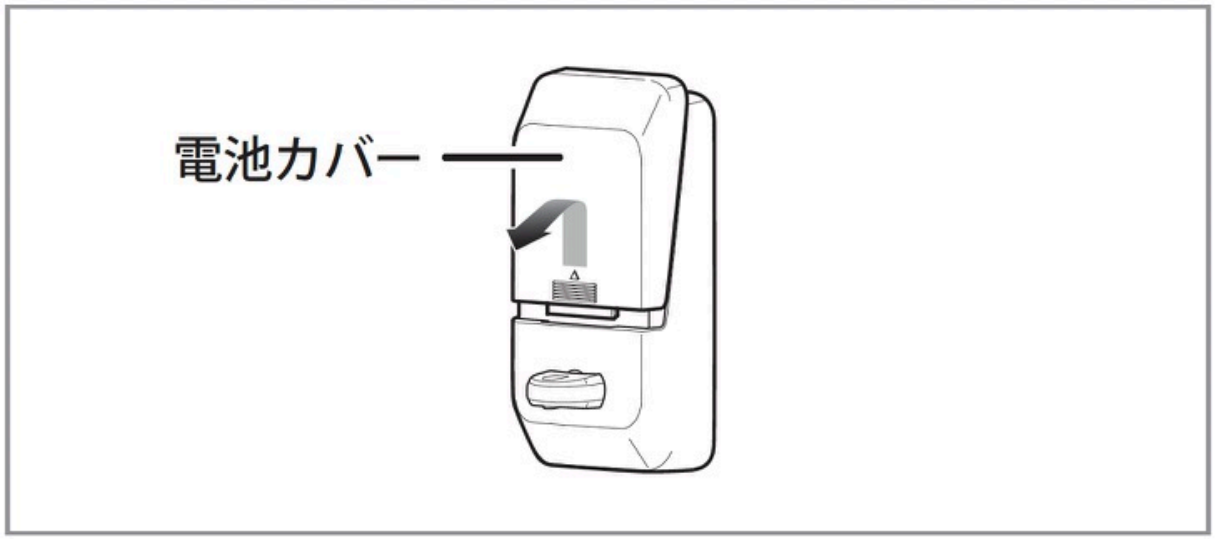
動画マニュアルをご参照ください。

動画マニュアル
https://linkjapan.co.jp/question/miwalock/

DTRS Ⅱ smart・DTRSをペアリング待機状態にする

DTRS Ⅱ smartの手順を説明します。※DTRSシリーズも手順は同じです。

１：室内側の電池カバーを上にスライドさせ、手前に引いて取り外します。



２：室内側の電池を抜き差しします。（ピーと鳴る）

※抜き差し後もピーと鳴らない場合は、設定ボタンを3秒長押し（次項の３の手順）を行い表示部が表示されるかご確認ください。

※抜き差しする電池は1本でかまいません。

３：解錠・開扉状態で設定ボタンを3秒長押しします。（ピピピッと鳴り指を離す）

4：以下の順に押します。

※設定ボタンを3秒長押し後にピピピッと鳴り、5秒以内に操作してください。

※表示部の表示が消えた場合は、再度設定ボタンを3秒以上長押しして表示させてください。

「　b　」が表示されるまで設定ボタンを押し、表示されたら施解錠ボタンを押す

↓

「　—｜　」（7が欠けている状態）が表示されるまで設定ボタンを押し、表示されたら施解錠ボタンを押す

↓

「　P　」が表示されるまで設定ボタンを押し、表示されたら施解錠ボタンを押す

5：以下のペアリング待機状態になっているか、確認します。

室内側の表示部

「—｜」（7が欠けている状態）が点滅

6：ペアリング待機中にアプリにてスマートロックの登録を行います。

※待機状態は、約3分間です。その間にアプリにて登録を行ってください。

スマートロックが「ピー」と鳴り、ペアリング待機状態が終わった場合

「ピー」と鳴るとスマートロックとハブ（BLE）がペアリング完了した状態となり、表示部の表示が消えます。

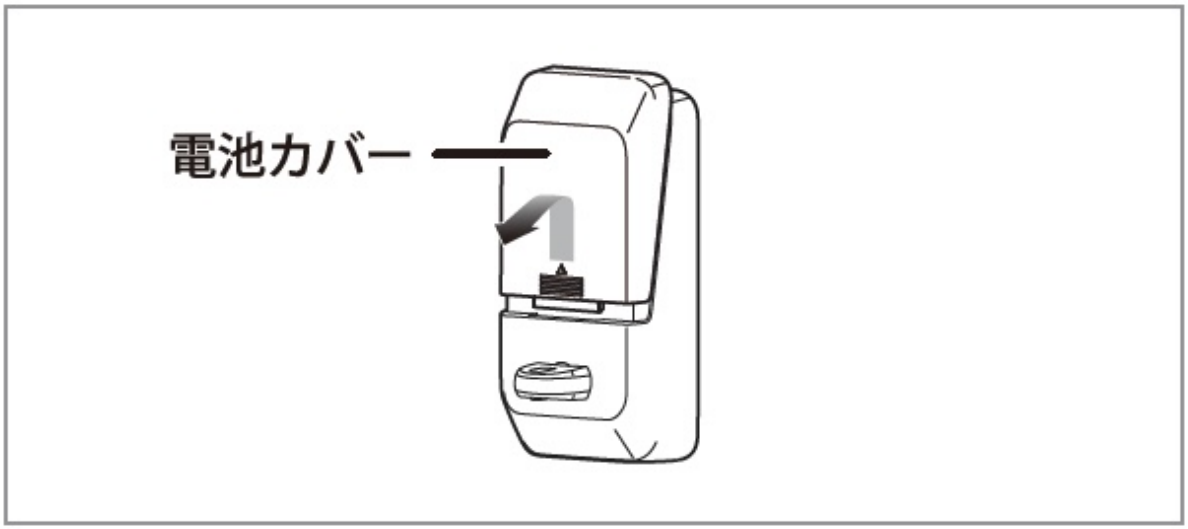
「ピー」となった後においてもアプリにて登録を行ってください。

目次に戻る

PiACK II smart・PiACK IIをペアリング待機状態にする

PiACK II smartの手順を説明します。※PiACK IIシリーズも手順は同じです。

1：上側室内側の電池カバーを上にスライドさせ、手前に引いて取り外します。



2：室内側の電池を抜き差しします。（ピーと鳴る）

※抜き差し後もピーと鳴らない場合は、設定ボタンを3秒長押し（次項の３の手順）を行い表示部が表示されるかご確認ください。

※抜き差しする電池は1本でかまいません。

3：解錠・開扉状態で設定ボタンを3秒長押しします。（ピッピッと鳴り指を離す）

4：室外側のテンキーで以下の順に押します。

※設定ボタンを3秒長押し後にピッピッと鳴り、5秒以内にテンキーを操作してください。

※テンキーの表示が消えた場合は、再度設定ボタンを3秒以上長押しして表示させてください。

C→　1　→　E　→　3　→　E　→　1　→　E

5：以下のペアリング待機状態になっているか、確認します。

室外側

「3」が点滅

室内側の表示部

「—｜」（7が欠けている状態）が点滅

6：ペアリング待機中にアプリにてスマートロックの登録を行います。

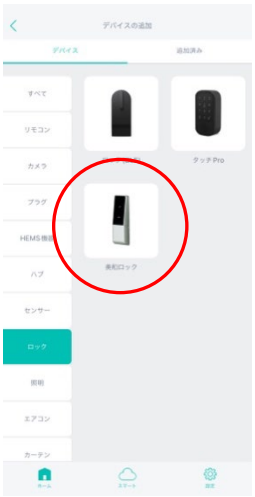
※待機状態は、約3分間です。その間にアプリにて登録を行ってください。

スマートロックが「ピー」と鳴り、ペアリング待機状態が終わった場合

「ピー」と鳴るとスマートロックとハブ（BLE）がペアリング完了した状態となり、表示部の表示が消えます。
「ピー」となった後においてもアプリにて登録を行ってください。

アプリにスマートロックを登録する

スマートロックをペアリング待機中にした上で、アプリ上にて登録します。

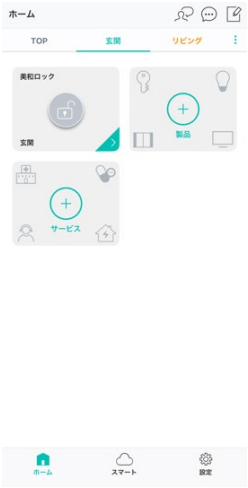


「美和ロック」を選択

ロックがペアリング待機中であることを確認

セットアップ中

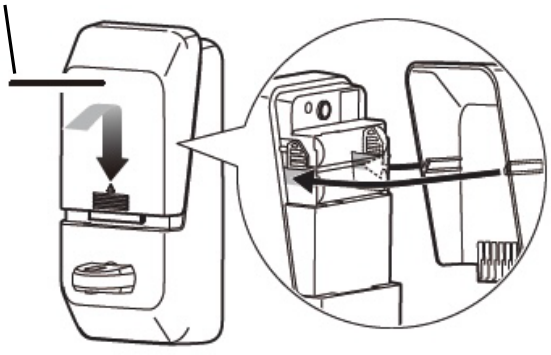
お好みで名称と部屋を決め「次へ」をタップ



上側電池カバーの取り付け方

設定完了した後に、電池カバーを取り付けてください。
電池カバーをガイドの位置に合わせかぶせてから、下にスライドさせ「カチッ」と鳴るまで、しっかりとはめ込みます。

電池ボックス



※アプリにスマートロックを登録後、操作不可の場合

登録しても操作不可の場合は、スマートロックのペアリングを解除して再ペアリングを行い、再度アプリにて登録し操作できるか確認してください。

DTRS Ⅱ smart・DTRSの場合

1：解錠・開扉状態で室内側の設定ボタンを3秒長押しします。（ピッ、ピピピッと鳴り指を離す）

2：以下の順に押します。

※設定ボタンを3秒長押し後にピピピッと鳴り、5秒以内に操作してください。
※表示部の表示が消えた場合は、再度設定ボタンを3秒以上長押しして表示させてください。

「　b　」が表示されるまで設定ボタンを押し、表示されたら施解錠ボタンを押す

↓

「　—｜　」（7が欠けている状態）が表示されるまで設定ボタンを押し、表示されたら施解錠ボタンを押す

↓

「　C　」が表示されるまで設定ボタンを押し、表示されたら施解錠ボタンを押す

↓

表示部で「　—｜　」（7が欠けている状態）が5回速く点滅し、「ピー」「ピー」と鳴り、表示部が点灯しペアリングが解除されます。

3：「DTRS Ⅱ smart・DTRSをペアリング待機状態にする」を参考に再度スマートロックのペアリングを行い、アプリにて登録し操作できるか確認します。

PiACK II smart・PiACK IIの場合

1：解錠・開扉状態で室内側の設定ボタンを3秒長押しします。（ピッピッと鳴り指を離す）

2：室外側のテンキーで以下の順に押し、ペアリングを解除します。（ピー、ピーと鳴り解除完了）

C→　1　→　E　→　3　→　E　→　0　→　E

3：「PiACK II smart・PiACK IIをペアリング待機状態にする」を参考に、再度スマートロックのペアリングを行い、アプリにて登録し操作できるか確認します。

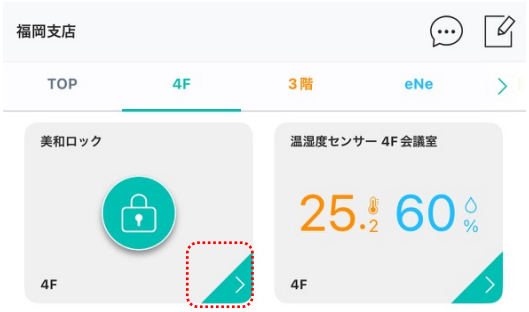
13.美和ロック（スマートロック）を操作する

ロックを操作する

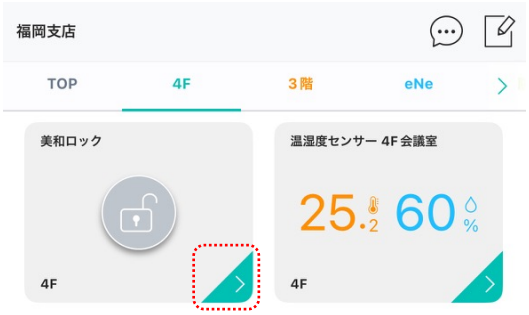
スマートロックを設置・設定完了後に、アプリからスマートロックを開閉することができます。

TOP画面、詳細画面から操作ができます。「＞」で詳細画面に移動します。

▼TOP画面



解錠（緑）



施錠（グレー）

▼詳細画面

施錠時の表示

解錠時の表示

Web・動画マニュアル

https://linkjapan.co.jp/support/manual/miwalock/

目次に戻る

緊急解錠機能について（ローカル操作）

緊急解錠機能により、ハブ（BLE）のWi-Fi接続が途切れた場合でも、美和ロックの施錠・解錠が可能です。
停電時やWi-Fiルーターの故障時など、緊急時に使用ください。

※ハブ（BLE）の電源が入っていないと使用できません。
※ハブ（BLE）のファームウェアバージョン1.3.0になっているか確認ください。
※HomeLinkのアプリバージョンが15.3以上になっているか確認ください。
※スマートフォンのBluetooth機能がオンになっているか確認ください。

美和ロック右下の「>」をタップ

緊急解錠をタップ

施錠もしくは解錠をタップ

デバイス接続中

施錠もしくは解錠が実行される。

目次に戻る

美和ロックのゲストキーを発行する

美和ロックのゲストキーの発行方法について説明します。

ゲストキーを発行することで、美和ロックの施錠・開錠の権限を一定期間、ご家族様などに与えることができます。

1、ホスト側

「美和ロック」にて「＞」をタップ

「ゲストキーを発行」をタップ

任意のゲスト名を入力する

任意のパスワードを設定する

目次に戻る

作成をタップする

メールで送信をタップする

メールアドレス入力後、メールで送信をタップするとゲストキーを送信できます。
※別途パスワードも共有も必要です。

2、ゲスト側

届いたメールのURLをタップする

パスワードを入力し、［次へ］をタップしてください

上記の画面にて美和ロックの施錠・開錠が可能になります

リンナイ給湯器を連携する ※ご利用者(入居者)さまでの登録となります。

リンナイの給湯器リモコンをHomeLinkアプリへ連携する方法について説明します。

この設定を行うことで、HomeLinkアプリからの給湯器操作が可能となります。

リンナイ社の「どこでもリンナイ」アプリをインストールし、台所リモコンをリンナイアプリで操作できる状態になってから、HomeLinkアプリにて連携の設定を行います。

動画マニュアル

https://youtu.be/uji0DajQR1w?t=1723

1　リンナイアプリからの設定

1-1：台所リモコンと無線LANルーターの接続

1-2：台所リモコンとスマートフォンの接続

設定は下記のURLご参照ください

https://rinnai.jp/app/remocon/mc302vc_a/connect/

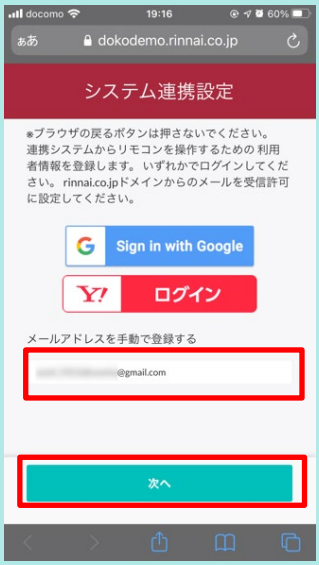
参考：リンナイアプリの操作方法

https://rinnai.jp/app/remocon/mc302vc_a/howto/

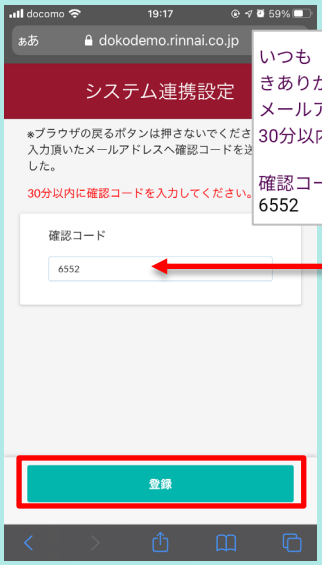
②HomeLinkとの連携

リンナイアプリから有効化コードを取得します。

リンナイアプリ



※Google・Yahooアカウントも登録可能です。



いつも「どこでもリンナイアプリ」をご利用いただきありがとうございます。
メールアドレスの確認コードを送付します。
30分以内に画面に入力ください。

確認コード：
6552

※メールアドレスに届いた確認コードを入力します。

リンナイアプリ

有効化コードをコピーします。

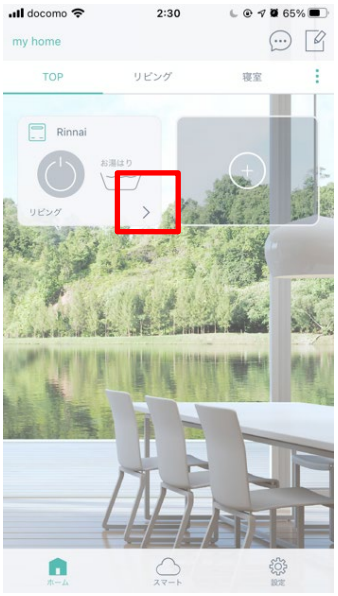
目次に戻る

有効化コードをコピーした後、HomeLinkアプリにて登録を行います。

「デバイスの新規追加」または「＋」をタップします。

メールアドレス、コピーした有効化コードを入力し、「有効化にする」をタップします。

お好みの名称を入力して部屋を選択して「次へ」をタップします。



アプリトップに表示され、登録完了です。

「＞」で詳細パネルを確認できます。

③リンナイ給湯器とアレクサとの連携

アレクサとの連携方法は、以下のURLを参照ください

https://rinnai.jp/app/remocon/mc302vc_a/connect/smartspeaker/

目次に戻る

ノーリツ給湯器を連携する ※ご利用者(入居者)さまでの登録となります。

ノーリツの給湯器リモコンをHomeLinkアプリへ連携する方法について説明します。

この設定を行うことで、HomeLinkアプリからの給湯器操作が可能となります。

動画マニュアル

https://youtu.be/uii0DaiOR1w?t=2014

①給湯器リモコンの設定

①-1：台所リモコンと無線LANルーターを接続する

①-2：台所リモコンとスマートフォンを接続する

設定は下記のURLの無線LAN設定編をご参照ください。

https://www.noritz.co.jp/product/kyutou_bath/remocon/app_settei.html

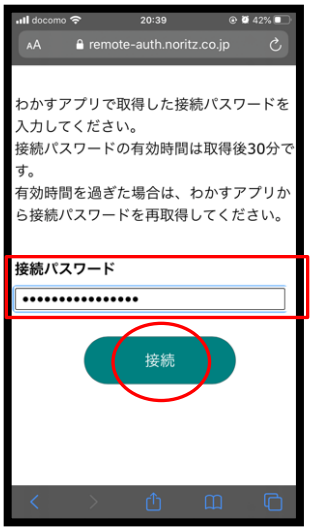
②HomeLinkを連携する

わかすアプリから接続パスワードを取得し、コピーします。

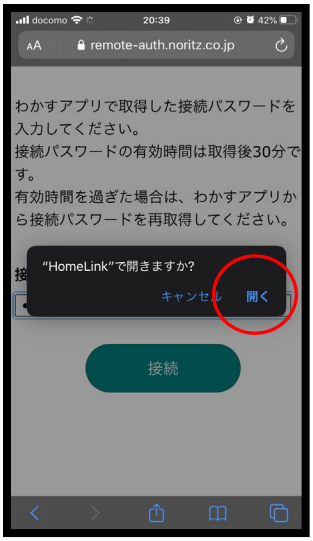
HomeLinkアプリにて登録を行います。

「デバイスの新規追加」または「＋」をタップします。

給湯器から「NORITS」を選択します。



ブラウザアプリが起動します。わかすアプリでコピーしたパスワードをペーストし、「接続」をタップします。



「開く」を選択します。

追加完了したら、お好みの名称を入力して部屋を選択して「次へ」をタップします。

アプリトップに表示され、視聴できれば登録完了です。「＞」で詳細パネルを確認できます。

③ノーリツ給湯器とスマートスピーカーを連携する

連携方法は以下のマニュアルをご参照ください。

https://www.noritz.co.jp/product/kyutou_bath/remocon/app_settei.html

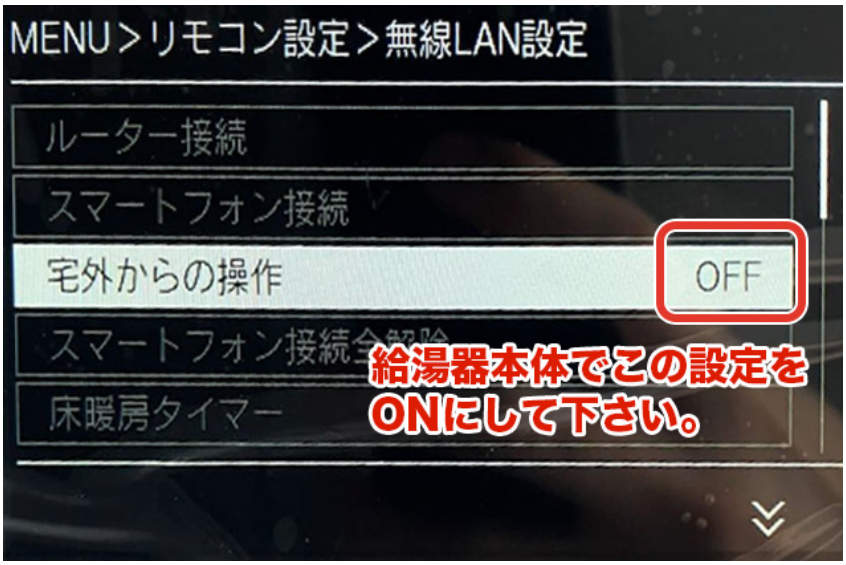
大阪ガス給湯器を連携する ※ご利用者(入居者)さまでの登録となります。

大阪ガスの給湯器リモコンをHomeLinkアプリへ連携する方法について説明します。

この設定を行うことで、HomeLinkアプリからの給湯器操作が可能となります。

○給湯器リモコンの事前確認

HomeLinkアプリにて大阪ガス給湯器をご使用になるためには、給湯器リモコンの設定にて、「宅内の操作」がオンになっている必要がございます。



①給湯器リモコンの設定

<事前確認>

ご利用の給湯器が、「エネファームアプリⅡ」または「給湯器アプリ」にて、給湯器リモコンを事前にご登録ください。

ご利用の給湯器に対応するアプリについては、大阪ガスのHPをご参照ください。

※給湯器アプリ、エネファームアプリの操作方法については、大阪ガスにお問い合わせください。

▼給湯器アプリについて

https://home.osakagas.co.jp/search_buy/hotwater/remote/index.html

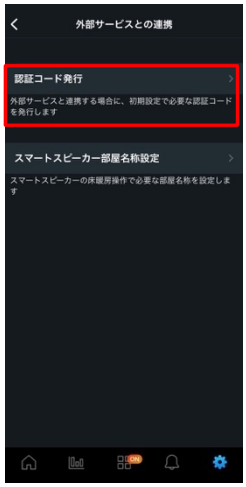
▼エネファームアプリについて：

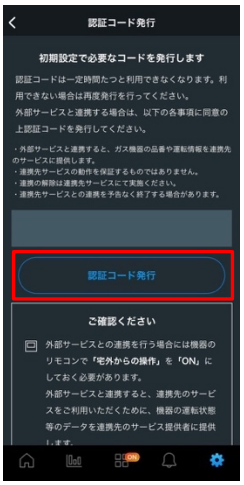
https://home.osakagas.co.jp/search_buy/enefarm/wireless_lan/index.html

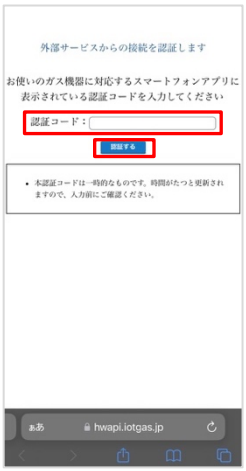
②HomeLinkを連携する（以下はエネファームアプリⅡでの手順となります）

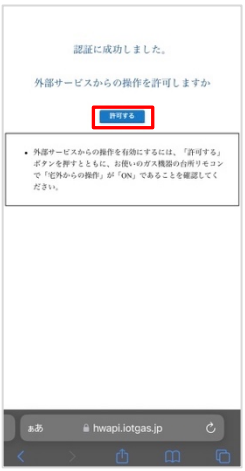
エネファームアプリⅡアプリを起動し、「歯車」→「外部サービスとの連携」→「認証コード発行」→「認証コード発行」をタップし、14桁数字の認証コードを発行します。

※認証コードは自動でコピーされます。5分以内に設定を完了させてください。





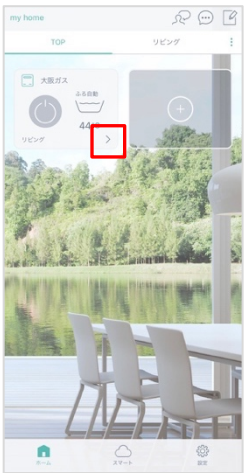




HomeLinkアプリにて、
ホーム「＋」→「給湯器」→「大阪ガス」
を選択すると、ブラウザに遷移します。

さきほどの認証コードを貼り付け、
「許可する」をタップします。

認証に成功しましたら、「許可する」をタップします。HomeLinkへ戻ります。



追加完了画面にて「次へ」をタップ

するとTOP画面に給湯器パネルが表示され登録完了です。

「＞」で詳細画面が開きます。

目次に戻る

パーパス給湯器を連携する ※ご利用者(入居者)さまでの登録となります。

① 給湯器リモコンの設定

①-1：無線LANルーターとスマートフォンを接続する

①-2：無線LANルーターと無線LANリモコンを接続する

①-3：スマートフォンと無線LANリモコンを接続する

設定は下記のURLから設定マニュアルのガス給湯器「カンタン操作ガイド」をご参照ください。

https://www.purpose.co.jp/special/purpose_connect/

②HomeLinkを連携する

パーパスアプリにて、連携IDとパスワードを取得します。

「設定」→「アプリ設定」→「他のアプリ接続設定」

パスワードを決め、「登録」をタップします。

HomeLinkアプリにて登録を行います。

ホーム「＋」→「給湯器」
→「パーパス」を選択

連携IDとパスワードを入力し、「有効化する」をタップ

追加完了画面にて「次へ」をタップ

アプリトップに表示され、登録完了です。
「＞」で詳細パネルを確認できます。

目次に戻る

16. スマート機能について

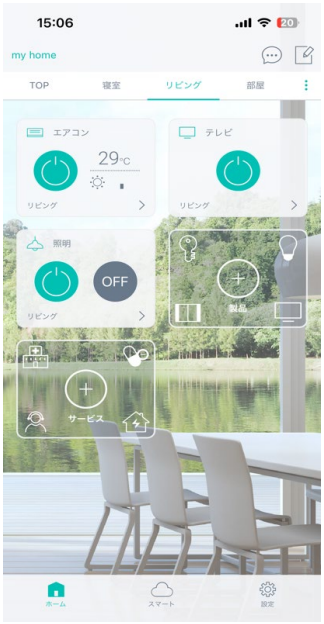
シーンの設定方法

シーンとは１回の操作で複数の動作をさせることができる機能です。

動画マニュアル

https://youtu.be/_ldr2q6xUGw

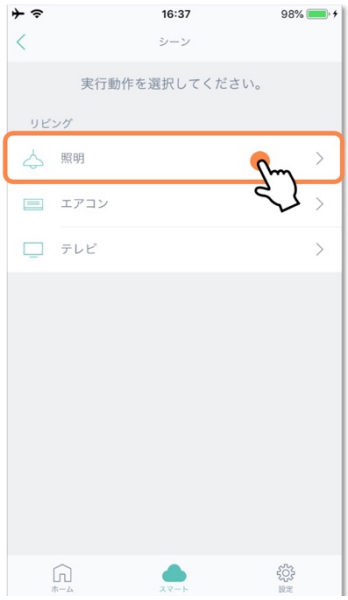
設定は以下の手順を確認してください。（例として照明とテレビをつけるシーンを作成しています。）



HomeLinkアプリ内の「スマート」をタップ。

シーンからお好みのパネルをタップします。
また、「＋」を押すことでシーンの新規作成も可能です。

「＋」をタップ。



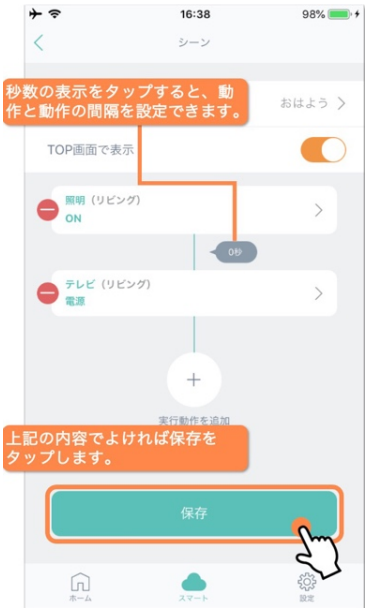
シーンにて動作させたい機器・動作を選択してください。

実際に動作させたいボタンをタップ。

続けて「＋」をタップ

続けて追加したい機器・動作をタップ

実際に動作させたいボタンをタップ。



保存をタップ。
この画面で動作と動作の間の待機時間を設定することもできます。

設定したシーンは「＞」ボタンで編集が可能です。

連動の設定方法

連動設定とは、センサーやGPSの動きなどを条件として、家電操作やePlugの操作を自動化できる機能です。

ここでは例として、eAirのCO2センサーを条件に、ePlug2を動作させる手順を説明します。

「スマート」をタップ。

連動から「＋」をタップ

条件を「タップ」

条件に設定したい機器をタップ。

今回はeAir。

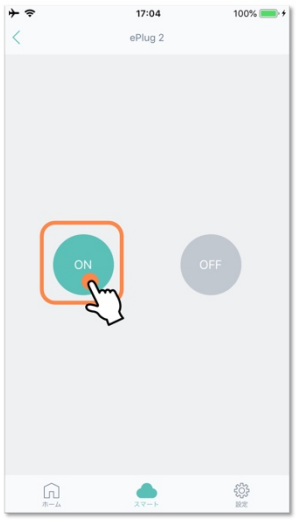
条件に設定したい動作・条件を選択

条件の詳細を設定し、「OK」をタップ

続けて「＋」をタップ

連動機能で動作させたい機器をタップ。

目次に戻る



実際に動作させたいボタンをタップ。

「保存」をタップすると、設定完了です。

削除したい場合は、画面右上の「ペンとノート」マークをタップ。

削除ボタンで消すことができます。

目次に戻る

連動できる機器について

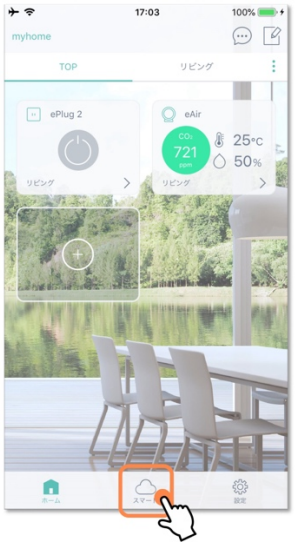
連動機能によって各機器ができること

	トリガー(条件)として設定可能	実行動作として設定可能
eRemote AC200 AC100 Pro		家電の操作
eRemote5	温度：〇℃以上(以下)になったら 湿度：〇%以上(以下)になったら	家電の操作
ePlug3 ePlug2		コンセントのオンオフ
eCamera2	動きを検知したら 音声を検知したら	スリープ
eAir	温度：〇℃以上(以下)になったら 湿度：〇%以上(以下)になったら CO2：〇〇以上(以下)になったら	
eSensor2	温度：〇℃以上(以下)になったら 湿度：〇%以上(以下)になったら	
eLamp		オンオフ 色の変更
カーテン		オープン・クローズ (開く量も調節可能)
温湿度センサー	温度：〇℃以上(以下)になったら 湿度：〇%以上(以下)になったら	
開閉センサー	開閉	
照明スイッチ	スイッチが押されたら	オンオフ オンオフ反転
マルチボタン	スイッチが押されたら (シングルクリック・ダブルクリック・長押し)	
人感センサー	検知したら	
美和ロック	解錠されたら 施錠されたら	施解錠
シャッター中継機	全開(全閉)になったら 異常停止したら	オープン・クローズ

気象	マップで指定したエリア内の気象をトリガーにする 外気温：〇℃に上がったら(下がったら) 天気：雨(雪・曇・晴れ)になりそうな時
GPS	マップで指定したエリアに入った時(出た時)

目次に戻る

連動の設定方法



「スマート」をタップ。

タイマーから「＋」をタップ。

「＋」をタップ。

タイマーに指定したい機器を選択。

条件に設定したいどうさを選択。

タイマーの時間、繰り返しを設定。

「OK」をタップ

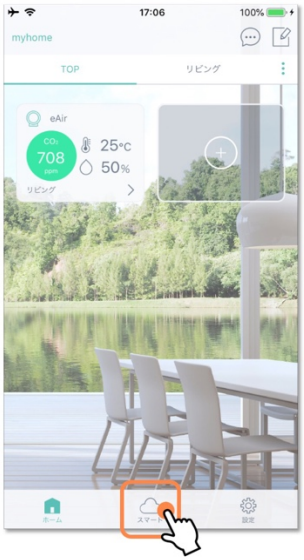
トグルスイッチでタイマーの無効・有効を切り替えできます。

目次に戻る

連動の設定方法

ここでは例として、eAirのCO2濃度が上がったら通知をするという設定を解説します。

※どの機器でも設定手順は同じです。



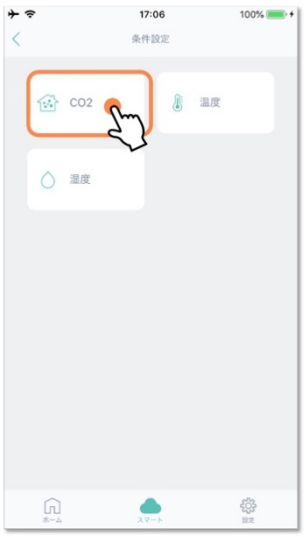
「スマート」をタップ。

通知から「＋」をタップ。

条件をタップ。

通知の条件に指定したい機器を選択。

今回はeAir。



通知の条件に設定したい項目を「タップ」

今回はCO2の値。

通知の条件を細かく設定し、「OK」をタップ。

「保存」をタップ。

削除したい場合は、画面右上の「ペンとノートマーク」をタップし、削除ボタンから行なえます。

17. よくある質問

eRemoteシリーズ

Q. セットアップができない（eRemoteシリーズ）

【スマホの設定について】

- スマホのWi-Fi設定にて、ご使用のWi-Fiルーター（2.4GHz帯のSSID）を選択してから、本製品のセットアップを行ってください。※5GHz帯のWi-Fi（SSID）ではセットアップができません。
- 位置情報をオンにしておいてください。

【本製品について】

- 本製品の電源を入れ、LEDが断続的な点滅（4回点滅）になっているかご確認ください。LEDが点滅しない場合は、リセットボタンを6秒以上長押ししてリセットしてください。

【Wi-Fiルーターの設定について】

- 「1. セットアップの前に」の「Wi-Fiルーターの設定を確認」をご確認ください。

Q. アプリからリモコンボタンをタップしても反応しない

以下をご確認ください。

●アプリのリモコンボタンを押したとき、本製品のLEDは点滅しますか？

【点滅する場合】

本製品から赤外線が送信できていますので、家電に赤外線が届いていない可能性が考えられます。
家電に本製品の赤外線が届くように設置を見直してください。

【点滅しない場合】

本製品から赤外線が送信できていない可能性があります。
本製品の電源の抜き差し、アプリをマルチタスク画面より閉じて再起動、Wi-Fiルーターを再起動をし、改善されるかお試しください。

●正しいプリセットデータを選択しましたか？（テレビ、エアコンでプリセット登録した場合）

赤外線の受信に問題がない場合は、登録されている赤外線信号パターンが異なる可能性があります。

Q. リセットロックとは何？

リセットロックを有効にすることで、機器のリセット操作を無効化し意図しないリセットを防止できます。
以下の際に有効にしてください。

① 誤操作を防止したい場合。

② 入居者による子アカウントの機器のリセットを防止したい場合。

対象機器：eRemote AC100、AC200（ゲートウェイ機能内蔵）、ハブ（BLE）
※対象機器は現時点2025/01/23。今後対象機器が増える可能性あり。
※本体ラベルにeRemote Proと記載があるものは非対応。

※設定画面にリセットロックが表示されない場合はファームウェアを最新にしてください。

※初期値は無効です。

※リセットロックを無効にすると、機器のリセットが有効になります。

※リセットロック機能は、QR-Link親アカウントでのみ設定できます。子アカウントでは設定不可の仕様となります。

リセットロック解錠方法

リセットロック有効時に機器をリセットしたい場合は、リセットボタンを30秒以上長押しするとLEDが点滅しリセット（解除）されます。

リセットロック解錠後に設定画面の項目が非表示となります。

再登録することで再度表示されます。

目次に戻る

Q. 再設定したい（リセット方法）

以下の手順でリセットを行ってください。

1. 電源が入った状態で、リセットボタンを約6秒以上長押しします。
2. LEDが断続的な点滅（4回点滅）となり、リセットされます。

Q.美和ロックのオートロック機能の動作について

美和ロックのオートロック機能は、ラクセスキーやカードキーでは動作せず、HomeLinkで開錠した場合のみ動作しますので、ご注意ください。

カーテン（ZigBee）

Q. カーテンモーターから出ている線は何？

カーテンモーターから出ている配線は、カーデンモーターのリモコンのアンテナです。

このアンテナによってより遠い距離からリモコンでカーテンを操作できるようになりました。

このアンテナはなるべく露出した状態にしてください。また切断しないで下さい。